

平成音楽大学

令和4年度 前期

授業評価アンケート調査 結果報告

〈授業評価アンケート調査結果〉

- 1 全科目
- 2 講義・演習系科目
- 3 実技系科目

〈授業改善計画〉

- 1 講義・演習系科目
- 2 実技系科目

アンケート調査結果 【全集計】

● **実施時期：**
令和4年度 前期

● **調査対象：**
実施科目数 191 科目
回答学生 合計延べ人数 1,713 人

● **評価基準：** 五段階評価
5= はい
4= どちらかといえば「はい」
3= どちらともいえない
2= どちらかといえば「いいえ」
1= いいえ

● **調査結果：**

質問項目1.	質問項目2.	全体平均
4.61	4.65	4.64

1. 授業(レッスン)に対するあなた自身の取組みについて

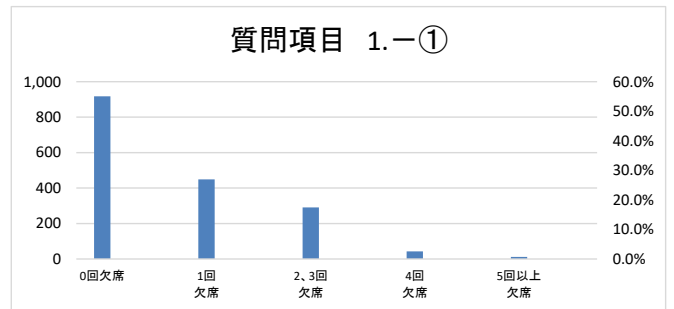
- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

2. この授業(レッスン)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか/レッスンを受けて技能は高まりましたか

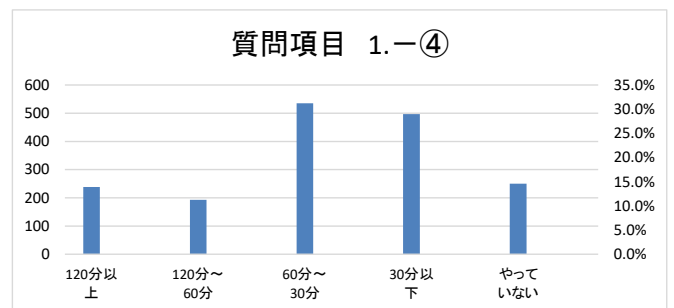
質問項目 1.-① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか

	0回欠席	1回欠席	2,3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	回答数
人	918	449	291	43	12	1,713
%	53.6%	26.2%	17.0%	2.5%	0.7%	100.0%



質問項目 1.-④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか

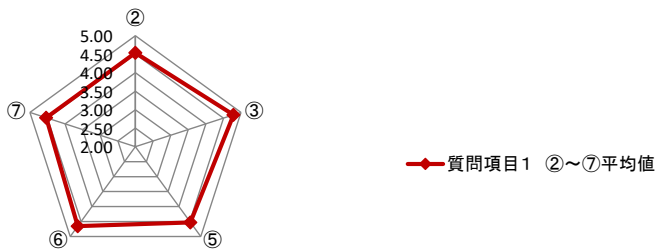
	120分以上	120分～60分	60分～30分	30分以下	やっていない	回答数
人	238	193	535	497	250	1,713
%	13.9%	11.3%	31.2%	29.0%	14.6%	100.0%



平均値(質問項目 1.-②～⑦)

	②	③	⑤	⑥	⑦	質問項目 1.
全体	4.54	4.79	4.53	4.65	4.54	4.61

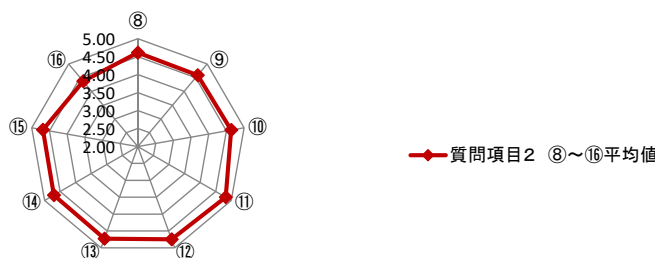
質問項目1 ②～⑦平均値



平均値(質問項目 2.-⑧～⑯)

	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	質問項目 2.
全体	4.61	4.59	4.63	4.82	4.75	4.73	4.70	4.68	4.37	4.65

質問項目2 ⑧～⑯平均値



アンケート調査結果 【 講義・演習系 】

● **実施時期：**
令和4年度 前期

● **調査対象：**
実施科目数 119 科目
回答学生 合計延べ人数 1,435 人

● **評価基準：** 五段階評価
5= はい
4= どちらかといえば「はい」
3= どちらともいえない
2= どちらかといえば「いいえ」
1= いいえ

● **調査結果：**

質問項目1.	質問項目2.	全体平均
4.59	4.62	4.61

1. 授業(レッスン)に対するあなた自身の取組みについて

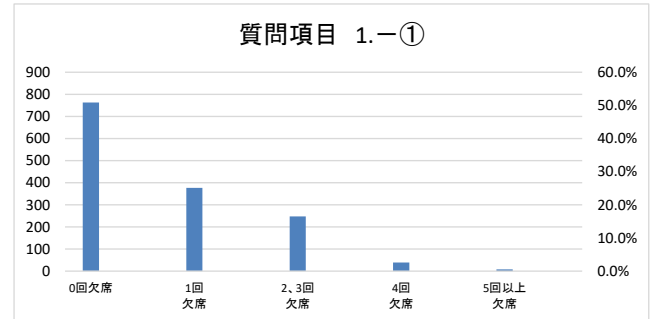
- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

2. この授業(レッスン)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか/レッスンを受けて技能は高まりましたか

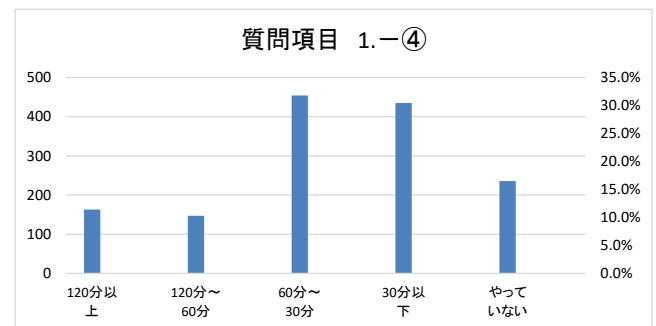
質問項目 1.ー① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか

	0回欠席	1回欠席	2、3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	回答数
人	763	377	248	39	8	1,435
%	53.2%	26.3%	17.3%	2.7%	0.6%	100.0%



質問項目 1.ー④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか

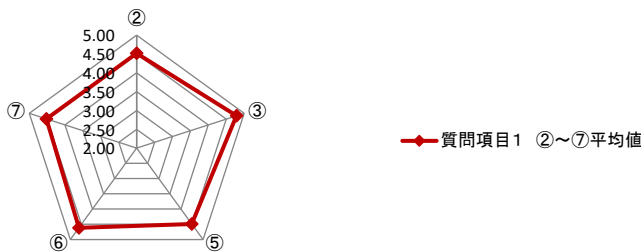
	120分以上	120分～60分	60分～30分	30分以下	やっていない	回答数
人	163	147	454	435	236	1,435
%	11.4%	10.2%	31.6%	30.3%	16.4%	100.0%



平均値(質問項目 1.ー②～⑦)

	②	③	⑤	⑥	⑦	質問項目 1.
全体	4.52	4.79	4.49	4.61	4.52	4.59

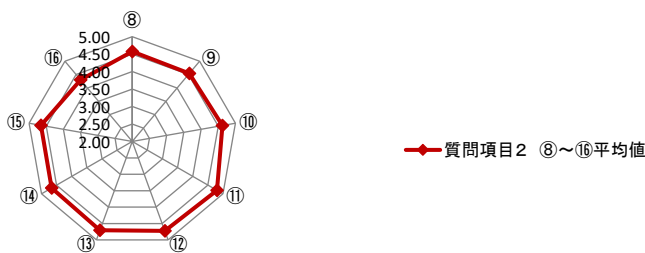
質問項目1 ②～⑦平均値



平均値(質問項目 2.ー⑧～⑯)

	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	質問項目 2.
全体	4.57	4.54	4.62	4.80	4.72	4.70	4.67	4.65	4.30	4.62

質問項目2 ⑧～⑯平均値



アンケート調査結果 【実技系】

● **実施時期：**
令和4年度 前期

● **調査対象：**
実施科目数 72 科目
回答学生 合計延べ人数 278 人

● **評価基準：** 五段階評価
5= はい
4= どちらかといえば「はい」
3= どちらともいえない
2= どちらかといえば「いいえ」
1= いいえ

● **調査結果：**

質問項目1.	質問項目2.	全体平均
4.73	4.82	4.79

1. 授業(レッスン)に対するあなた自身の取組みについて

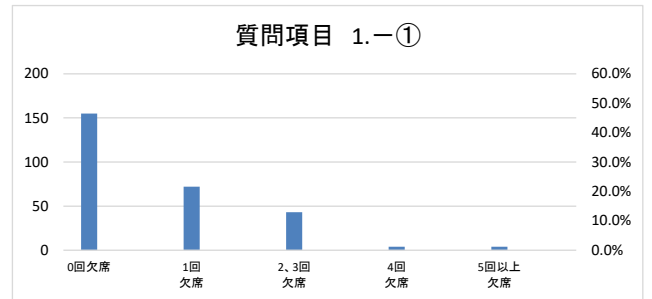
- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

2. この授業(レッスン)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか/レッスンを受けて技能は高まりましたか

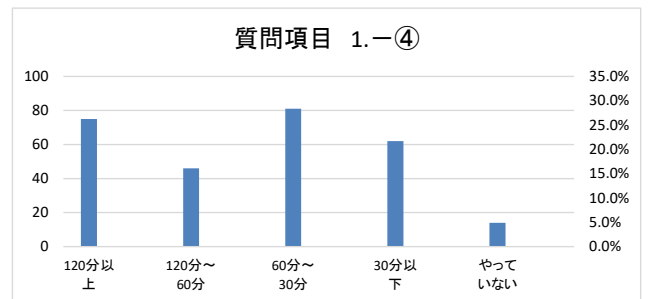
質問項目 1.ー① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか

	0回欠席	1回欠席	2、3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	回答数
人	155	72	43	4	4	278
%	55.8%	25.9%	15.5%	1.4%	1.4%	100.0%



質問項目 1.ー④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか

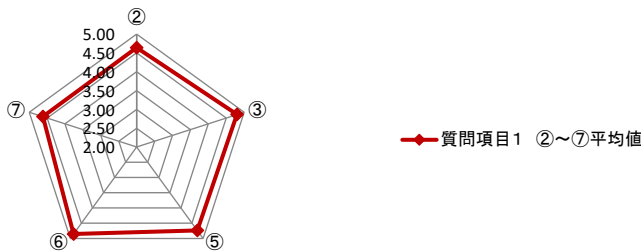
	120分以上	120分～60分	60分～30分	30分以下	やっていない	回答数
人	75	46	81	62	14	278
%	27.0%	16.5%	29.1%	22.3%	5.0%	100.0%



平均値(質問項目 1.ー②～⑦)

	②	③	⑤	⑥	⑦	質問項目 1.
全体	4.64	4.80	4.73	4.85	4.62	4.73

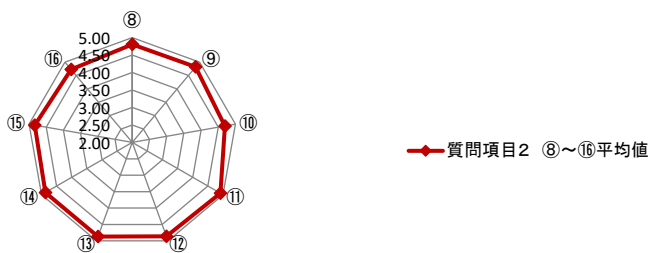
質問項目1 ②～⑦平均値



平均値(質問項目 2.ー⑧～⑯)

	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	質問項目 2.
全体	4.81	4.82	4.69	4.91	4.86	4.87	4.87	4.83	4.72	4.82

質問項目2 ⑧～⑯平均値



1 講義・演習系科目

ページ	授業科目	担当教員
6	音楽教育演習Ⅰ	岩山 恵美子
7	音楽教育演習Ⅲ	岩山 恵美子
8	音楽教育演習Ⅴ	岩山 恵美子
9	音楽科の授業設計と指導法Ⅰ	岩山 恵美子
10	音楽科教育法Ⅰ	岩山 恵美子
11	音楽教育学Ⅰ	岩山 恵美子、井手 公二
12	教育課題研究Ⅰ	岩山 恵美子、馬込 勇
13	フレッシュマンゼミ	木村 博子
14	音楽史Ⅰ（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	木村 博子
15	西洋音楽史Ⅰ	木村 博子
16	音楽基礎演習	木村 博子
17	幼児合奏指導Ⅲ	木村 博子
18	ハーモニーⅡ	木村 博子
19	音楽史特殊講義Ⅰ	木村 博子
20	合奏Ⅰ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ（吹奏楽）	馬込 勇、柏尾 剛徳
21	アンサンブルⅠ、Ⅲ（オーケストラ）	馬込 勇、柏尾 剛徳
22	アンサンブル研究Ⅰ（オーケストラ）	馬込 勇、柏尾 剛徳
23	合奏研究Ⅰ	馬込 勇、柏尾 剛徳
24	保育者論	亀井 裕子
25	教職概論	亀井 裕子
26	教育課程総論	亀井 裕子
27	子育て支援	亀井 裕子、竹下 健太
28	保育実習指導Ⅰ	亀井 裕子、石岡 ひろみ、松岡 和男
29	ソルフェージュⅤ	桑原 理恵
30	アンサンブルⅠ（声楽）	桑原 理恵
31	オペラ研究Ⅰ	桑原 理恵
32	オペラ研究Ⅲ	桑原 理恵
33	アンサンブルⅢA（ピアノ）	松崎 伶子
34	アンサンブルⅠ（ピアノ）	川口 みさき
35	アンサンブルⅢB（ピアノ）	川口 みさき
36	伴奏法ⅠA	眞鍋 協子
37	伴奏法ⅠB	眞鍋 協子
38	伴奏法Ⅲ	眞鍋 協子
39	音楽療法演習Ⅲ	村橋 和子
40	音楽療法演習Ⅶ	村橋 和子
41	音楽療法基礎理論Ⅰ	村橋 和子
42	音楽療法演習（各論）	村橋 和子
43	弾き歌Ⅰ	村橋 和子
44	表現技術	石岡 ひろみ
45	こどもの体育Ⅰ	石岡 ひろみ
46	造形表現	石岡 ひろみ
47	発達心理学	竹下 健太
48	教育相談	竹下 健太
49	キャリア教育の理論と方法	竹下 健太
50	保育の心理学	竹下 健太

ページ	授業科目	担当教員
51	音楽理論ⅠB	西林 博子
52	ソルフェージュⅠB	西林 博子
53	和声学ⅠA(キーボード・ハーモニー含む)	西林 博子
54	和声学ⅠB(キーボード・ハーモニー含む)	西林 博子
55	和声学Ⅲ(キーボード・ハーモニー含む)	西林 博子
56	ソルフェージュⅢB	西林 博子
57	対位法	西林 博子
58	音楽理論ⅠA	柏尾 剛徳
59	豊かな言葉Ⅰ	楢山 範夫
60	教育課程総論	楢山 範夫
61	教育方法・技術	楢山 範夫
62	生徒指導の理論と方法	楢山 範夫
63	教育学Ⅰ	藤田 泉
64	教育学Ⅱ	藤田 泉
65	教育原理	藤田 泉
66	保育原理	藤田 泉
67	アートマネジメントⅢ	脇山 純
68	サウンドデザインⅠ	脇山 純、西田 和政
69	サウンドデザインⅢ	脇山 純、矢賀部 竜成
70	サウンドデザインⅤ	脇山 純、矢賀部 竜成
71	サウンドデザインⅦ	脇山 純、矢賀部 竜成
72	生活科論	松岡 和男
73	保育の計画と評価	松岡 和男

教科担当者 岩山 恵美子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽教育演習 I

回答者数 4 履修者数 5

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 1 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	発声のメカニズムや変声期の指導などの学修を通して、中学校における歌唱領域の指導内容について、理解を深めていった。また、各自の指導構想をもとに模擬指導を行ったり、生徒の実態や学習のねらいに応じた伴奏をアレンジしたりして、生徒の立場に立って考えるという姿勢を身につけるようにした。
2改善課題	授業評価アンケートの結果を見ると全体的に高評価を得ている。しかし、⑩「理解度」については、4.25と他項目と比べ低い。指導構想の内容や模擬指導を見る限り、学生たちは十分に理解しているととらえている。学生が「自分の学びの成果を自覚」できるような場が必要と考える。
3改善計画	発表(プレゼンテーション)や模擬指導の場を増やすだけでなく、気づきを教え合う時間を十分に確保できるように、シラバスの内容だけでなく毎時間の授業の内容や流れを精選・整理する。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	2	2	0	0	0	4	—	4.50	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	2	0	2	0	4	—	3.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	1	4	16	4.00	4.54
③	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.79
⑤	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.53
⑥	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.65
⑦	1	3	0	0	0	4	17	4.25	4.54
								4.55	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.61
⑨	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.59
⑩	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.63
⑪	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.82
⑫	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.75
⑬	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.73
⑭	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.70
⑮	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.68
⑯	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.37
								4.86	4.65

TOTAL								4.63	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 岩山 恵美子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽教育演習Ⅲ

回答者数 1 履修者数 1

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	創作の教材開発を通して、発想力・創造力や創作指導についての指導技術を高めることを目標に学修した。1対1の演習であるので、まず、学生の考えや発想を充分に引き出した後で、討議しながら内容を深めていくようにした。
2改善課題	マンツーマンの演習のため、学生自らが発想を広げていくことが難しいようである。
3改善計画	様々な情報提供が、指導者からの一方的な関わりになりがちであるので、学生の必要感を如何に把握し、適時に最適な情報を提供していくか、授業の内容や指導法をさらに工夫していく。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	1	—	5.00	4.29

	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	1	0	0	1	—	3.00	2.81

	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
③	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.79
⑤	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.53
⑥	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
⑦	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
								5.00	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.61
⑨	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.59
⑩	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.63
⑪	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.82
⑫	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑬	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.73
⑭	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.70
⑮	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.68
⑯	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.88	4.64

教科担当者 岩山 恵美子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽教育演習 V

回答者数 3 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	「歌舞伎：勧進帳」を教材に、生徒主体の授業づくりに取り組んだ。教材研究や授業構想は3人で内容や指導過程を分担し、課題ごとプレゼンテーションと討議で内容を深めていった。プレゼンテーションや模擬授業では積極的にICTを活用する姿も見られた。
2改善課題	授業評価アンケートの⑩「理解度」の評価が、他の質問項目と比べると低い。学修過程においても、まだ調べたりない、学習活動はこれでいいのかという不安や疑問の声が聞こえていた。学生が納得できるまで、じっくりと取り組む時間を如何に確保するかが課題である。
3改善計画	シラバスの内容精選だけでなく、毎時間の学修の内容の焦点化と事前・事後学修の内容との関連をより深める工夫をする。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	2	1	0	0	0	3	—	4.67	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	0	1	0	0	3	—	4.33	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.54
③	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.79
⑤	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.53
⑥	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
⑦	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.54
								5.00	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.61
⑨	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.59
⑩	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.63
⑪	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.82
⑫	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑬	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.73
⑭	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.70
⑮	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.68
⑯	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.37
								4.96	4.65
TOTAL								4.92	4.64

教科担当者 岩山 恵美子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽科の授業設計と指導法 I

回答者数 13 履修者数 15

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	「浜辺の歌」を教材に歌唱の授業設計について考え、学習指導案を作成した。学習指導案作成については、各項目ごとに「何を、どのように考え、記述するか」を学んだ後に、自分なりに書いていった。一人一人の記述については、授業づくりの考えを明確にとらえることができるようにという視点から、添削・助言を毎回行った。予定では、学生の作成した学習指導案をもとに模擬授業を実施するようにはしていたが、指導案作成に時間をとられ、模擬授業までできなかった。
2改善課題	授業評価アンケートの結果を見ると⑦「目標達成」⑩「理解度」の評価点が低い。その要因として、学習指導案を作成するのは初めてであるだけでなく、項目が多く、納得ができるまで深く考えることができなかったことと、模擬授業ができなかったことにより、自分の考えを授業場面で確かめることができなかったためと考える。このことから、学生の学びのスピードや理解力を勘案した学修内容の配列と個に応じた支援のあり方を考えていく必要がある。
3改善計画	2年次の「音楽教育学Ⅱ」「音楽科教育法Ⅰ・Ⅱ」の内容との関連を図り、「音楽科の授業設計と指導法」の内容を精選する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	6	6	1	0	0	13	—	4.38	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	1	7	3	1	13	—	2.85	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	13	0	0	0	0	13	65	5.00	4.54
③	13	0	0	0	0	13	65	5.00	4.79
⑤	10	3	0	0	0	13	62	4.77	4.53
⑥	10	3	0	0	0	13	62	4.77	4.65
⑦	6	6	1	0	0	13	57	4.38	4.54
								4.78	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	1	0	0	0	13	64	4.92	4.61
⑨	12	1	0	0	0	13	64	4.92	4.59
⑩	11	2	0	0	0	13	63	4.85	4.63
⑪	12	1	0	0	0	13	64	4.92	4.82
⑫	12	1	0	0	0	13	64	4.92	4.75
⑬	11	2	0	0	0	13	63	4.85	4.73
⑭	12	1	0	0	0	13	64	4.92	4.70
⑮	9	4	0	0	0	13	61	4.69	4.68
⑯	3	7	3	0	0	13	52	4.00	4.37
								4.78	4.65

TOTAL								4.63	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 岩山 恵美子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽科教育法 I

回答者数 23 履修者数 25

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	音楽科学習指導要領の各領域の指導内容について学んだ後、「夏の思い出」を教材として、歌唱指導について考え、1時間の学習活動を構想した。学習のめあての内容が同じ者同士で、「めあてに迫る学習活動」、「授業の導入」、「授業の終わらせ方:まとめ」について話し合いながら、主な学習活動を考えた。その考えをもとに各自で、本時の学習展開案を作成した。学修の記録を毎時間提出させ、添削や助言を書いて次の学修時に返却してきた。その結果、大半の学生がおおむね妥当な学習展開を考えることができるようになったが、欠席が多かった学生の理解は進んでいない。
2改善課題	学習指導について考えるのが初めてであるため、指導者の立場で授業を考えることが難しいと予想した。そこで、中学校の授業記録を視聴したり具体的事例を紹介したりしたが、中学生像を思い描くのが難しいようであった。学校教育支援ボランティア活動での経験を、生徒理解や授業構想に生かすことが十分にできていない。
3改善計画	生徒の実態や指導者の考えおよび思いを理解することができるように、中学校の授業や学校教育支援ボランティア活動など教育現場の様子を実際に観察したり経験したりする機会を増やすようにする。また、観察や経験したことを生かせるように、「体験を振り返り、まとめる」取り組みをシラバスに取り入れるようにする。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	(人)	教科平均	全体平均
①	15	5	3	0	0	23	—	4.52	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	(人)	教科平均	全体平均
④	1	3	13	3	3	23	—	2.83	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.54
③	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.79
⑤	16	5	2	0	0	23	106	4.61	4.53
⑥	16	6	1	0	0	23	107	4.65	4.65
⑦	16	5	2	0	0	23	106	4.61	4.54
								4.77	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	5	1	0	0	23	108	4.70	4.61
⑨	17	5	0	0	1	23	106	4.61	4.59
⑩	19	2	2	0	0	23	109	4.74	4.63
⑪	20	2	1	0	0	23	111	4.83	4.82
⑫	20	3	0	0	0	23	112	4.87	4.75
⑬	21	2	0	0	0	23	113	4.91	4.73
⑭	19	4	0	0	0	23	111	4.83	4.70
⑮	17	5	0	0	1	23	106	4.61	4.68
⑯	11	6	4	2	0	23	95	4.13	4.37
								4.69	4.65
TOTAL								4.59	4.64

教科担当者 岩山 恵美子、井手 公二

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽教育学Ⅰ

回答者数 26 履修者数 27

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	明治時代から昭和20年までの音楽教育の変遷を、学校教育についての考え方や教育内容の変化を中心に学修を進めてきた。特に、教育政策の変化に伴い音楽教育についての考え方・価値観が変わってきていることや実際に指導に携わる教員の思いを理解することを通して、指導者としての役割と責任について考えるようにした。 学生たちにわかりやすく、より具体的な助言・指導に力を入れてきた。各学生の課題等の内容はよく工夫され提出されていた。やや難しい課題にも熱心に取り組む学生たちが多かった。評価について、全体的にはどの評価項目も高い評価のようである。しかしながら授業1回あたりの事前学修・事後学修の合計時間が不足しているようである。
2改善課題	課題レポートの記述内容からは学修内容についておおむね理解できていると把握していた。しかし、授業評価アンケートの結果を見ると⑦「達成感」⑩「理解程度の認識」の評価値が低いことから、学修内容の理解についての実感をもつことができるようにすることが課題である。 授業1回あたりの事前学修・事後学修について、これまでも常に各時間の内容に沿って課題を出し、次時につなぐ課題レポートを提出させる方法をとってきた。しかし次時の講義について事前の学修を促してはいるが、なかなか取り組めていない現実がある。
3改善計画	学修内容のまとめりとともに学んで分かったことをレポートにまとめてきた。レポートは、コメントを記して返却している。課題のフィードバックの方法を再検討すると共に、指導コメントの内容を「学生が自分の学びを再確認できる」ような内容になるように工夫する。 これまでも行ってきてはいるが前時終了時に次時の内容等について下調べなどをさせる工夫をし、学生たちがより取り組みやすい課題などをわかりやすく出していきたい。また、資料プリントの字の大きさが小さかったのか、見にくいという意見があったので、やや大きめの文字に変えていきたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	19	5	2	0	0	26	—	4.65	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	3	2	15	5	1	26	—	3.04	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	26	0	0	0	0	26	130	5.00	4.54
③	25	0	0	0	1	26	126	4.85	4.79
⑤	17	7	0	1	1	26	116	4.46	4.53
⑥	17	6	1	1	1	26	115	4.42	4.65
⑦	17	5	3	0	1	26	115	4.42	4.54
								4.63	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	18	6	1	0	1	26	118	4.54	4.61
⑨	16	7	1	0	2	26	113	4.35	4.59
⑩	20	2	4	0	0	26	120	4.62	4.63
⑪	19	6	1	0	0	26	122	4.69	4.82
⑫	17	6	2	0	1	26	116	4.46	4.75
⑬	16	6	3	0	1	26	114	4.38	4.73
⑭	17	7	1	0	1	26	117	4.50	4.70
⑮	18	5	1	0	2	26	115	4.42	4.68
⑯	9	10	6	1	0	26	105	4.04	4.37
								4.44	4.65

TOTAL								4.43	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 岩山 恵美子、馬込 勇

開講期 R4年度 前期

授業科目 教育課題研究 I

回答者数 3 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 専攻科

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	学生が抱えている疑問や関心事を出し合い、共通の追究課題を「GIGAスクール構想」と設定した。この共通課題をもとに、明らかにしたい事柄(課題)を各自で設定し、それについて調べ、まとめ、意見交換を行うというスタイルで学修を進めた。課題は、①GIGAスクール構想の背景と現状及び課題 ②個別最適化とは ③アクティブラーニング ④授業のユニバーサルデザイン化と、教育課題について広い視野で検討することができた。しかし、各自の事前学修内容のまとめ方が不十分のためプレゼン内容が伝わりにくいことがあった。 教育課題研究 I では、前半の4週、楽曲のアナリゼを中心に調査・研究を行ったが、DVDやCDを参考にする時間がかかり、授業の時間配分が難しかった。
2改善課題	授業評価アンケートの結果から、課題追究を進めてきたことに達成感をもったり、理解を深めたりできたことがうかがえる。今後も、如何にして学生の課題意識を高めていけるかが課題である。また、調べてきたことを相手に分かるような資料にまとめることができるようになることも課題である。 1の後半は吹奏楽コンクールの課題曲であったが、全員吹奏楽経験者で指導法にもとづく練習計画のシミュレーションではなくとも熱心にレポートをまとめる人が多く、1の後半も時間配分が課題。
3改善計画	課題について調べ、まとめるには時間的なゆとりが必要と考える。ゆとりをもったシラバスを工夫する。 Ⅱでは吹奏楽コンクールでの個々に選曲した曲に合わせた自由曲のアナリゼ指導法を前半に行うが、DVD視聴の時間を少なくして(個々にまかせる)、指導法とアナリゼを中心として改善したい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	1	1	0	0	3	—	4.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	2	1	0	3	—	2.67	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	1	3	11	3.67	4.54
③	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.79
⑤	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.53
⑥	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
⑦	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.54
								4.73	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.61
⑨	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.59
⑩	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.63
⑪	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.82
⑫	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑬	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.73
⑭	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.70
⑮	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.68
⑯	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.71	4.64

教科担当者 木村 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 フレッシュマンゼミ

回答者数 49 履修者数 53

単位数 1 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 音楽・こども

【改善計画】

1自己評価	初年次教育として、有意義な大学生活を送ることを主眼とした授業であり、毎回講師が異なるオムニバス形式をとるため、通常の授業のように相互に関連性を持たせることや、事前事後学修の設定が難しい側面もある。講師の方々は熱心に取り組んで下さり、学生の受講態度も真面目で、反応もよかった。教養科目としては十分にその機能を果たしていると思う。
2改善課題	事前事後学修についての取り組みを明確化していく。
3改善計画	教養教育委員会内で事前事後学修のシラバスへの記載を検討する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	35	11	2	1	0	49	—	4.63	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	4	6	17	21	49	—	1.92	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	48	0	0	0	1	49	241	4.92	4.54
③	42	0	0	0	7	49	217	4.43	4.79
⑤	19	10	12	2	6	49	181	3.69	4.53
⑥	29	18	2	0	0	49	223	4.55	4.65
⑦	20	21	8	0	0	49	208	4.24	4.54
								4.37	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	22	7	13	3	4	49	187	3.82	4.61
⑨	17	6	21	1	4	49	178	3.63	4.59
⑩	39	4	6	0	0	49	229	4.67	4.63
⑪	45	4	0	0	0	49	241	4.92	4.82
⑫	40	9	0	0	0	49	236	4.82	4.75
⑬	39	6	4	0	0	49	231	4.71	4.73
⑭	38	9	2	0	0	49	232	4.73	4.70
⑮	38	9	2	0	0	49	232	4.73	4.68
⑯	27	20	2	0	0	49	221	4.51	4.37
								4.50	4.65
TOTAL								4.31	4.64

教科担当者 木村 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽史 I (日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)

回答者数 25 履修者数 35

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	前年度の反省から事前事後学修に力を入れ、レポート課題複数を出したが、それがやや負担感を与えたようだ。レポート自体は全般的に回数を重ねることに上達していくものが多かった。事前事後学修に力を入れても、授業の理解度は低かったので、授業構成・運営について工夫が必要であると思った。
2改善課題	学生とのコミュニケーションを密に取り、わかりやすい授業を心がける。
3改善計画	教科書や教材を再検討する。パワーポイントを工夫して学生が理解しやすい内容にする。学生の意見を聞き、興味が持てるような内容にする。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	11	9	5	0	0	25	—	4.24	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	11	3	7	2	2	25	—	3.76	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	24	0	0	0	1	25	121	4.84	4.54
③	24	0	0	0	1	25	121	4.84	4.79
⑤	8	12	5	0	0	25	103	4.12	4.53
⑥	9	9	3	4	0	25	98	3.92	4.65
⑦	10	8	6	1	0	25	102	4.08	4.54
								4.36	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	7	3	2	1	25	102	4.08	4.61
⑨	11	8	4	1	1	25	102	4.08	4.59
⑩	16	5	4	0	0	25	112	4.48	4.63
⑪	19	6	0	0	0	25	119	4.76	4.82
⑫	18	5	1	1	0	25	115	4.60	4.75
⑬	10	9	5	1	0	25	103	4.12	4.73
⑭	15	7	1	1	1	25	109	4.36	4.70
⑮	13	7	2	1	2	25	103	4.12	4.68
⑯	7	6	9	3	0	25	92	3.68	4.37
								4.25	4.65
TOTAL								4.26	4.64

教科担当者 木村 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 西洋音楽史 I

回答者数 5 履修者数 10

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	オペラの歴史をたどる内容であったが、モーツァルトに至るまではあまりなじみのない作品が多く、少し理解しにくかったと思う。アンケート結果によれば、教員の意欲や努力は肯定的にとらえつつも、内容の理解度が低かったことが明らかになっており、今後の大きな課題だと思う。よくわかる授業を心がけていきたい。
2改善課題	わかりやすい授業内容にする。
3改善計画	パワーポイントを工夫する。授業内容について学生とのコミュニケーションを十分にとり、理解度を把握しつつ、授業を進める。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしましたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	1	2	0	1	5	—	3.20	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	1	2	2	5	—	1.80	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.54
③	4	0	0	0	1	5	21	4.20	4.79
⑤	3	0	2	0	0	5	21	4.20	4.53
⑥	3	2	0	0	0	5	23	4.60	4.65
⑦	3	2	0	0	0	5	23	4.60	4.54
								4.52	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	1	0	0	0	5	24	4.80	4.61
⑨	4	1	0	0	0	5	24	4.80	4.59
⑩	4	0	1	0	0	5	23	4.60	4.63
⑪	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.82
⑫	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.75
⑬	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.73
⑭	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.70
⑮	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.68
⑯	1	2	2	0	0	5	19	3.80	4.37
								4.78	4.65
TOTAL								4.41	4.64

教科担当者 木村 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽基礎演習

回答者数 22 履修者数 23

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	半期という短い時間で、楽典とソルフェージュの2科目を行うという難しさを改めて感じた。現場に出たときに役立つ理論と知識に特化して教えたが、それがかえって理解しにくいという印象を与えたかもしれない。幼児に音楽を提供するスペシャリストとして何が必要か、根本から考え直す必要がある。
2改善課題	楽譜を読む力をつけていくと同時に、楽譜がなくても音程やリズムをとれる(耳コピ)力を養う。わかりやすい内容、毎回の達成感がある授業を心がける。
3改善計画	学ぶポイントを明確化し、どのレベルの学生にも理解される内容とする。ピアノや声楽の授業などと連携して音楽の基礎が学べるようにする。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	9	8	5	0	0	22	—	4.18	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	0	7	11	3	22	—	2.32	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	21	0	0	0	1	22	106	4.82	4.54
③	22	0	0	0	0	22	110	5.00	4.79
⑤	16	4	2	0	0	22	102	4.64	4.53
⑥	18	3	1	0	0	22	105	4.77	4.65
⑦	15	6	1	0	0	22	102	4.64	4.54
								4.77	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	3	2	0	0	22	103	4.68	4.61
⑨	16	4	2	0	0	22	102	4.64	4.59
⑩	18	3	1	0	0	22	105	4.77	4.63
⑪	20	2	0	0	0	22	108	4.91	4.82
⑫	17	5	0	0	0	22	105	4.77	4.75
⑬	18	4	0	0	0	22	106	4.82	4.73
⑭	19	3	0	0	0	22	107	4.86	4.70
⑮	15	7	0	0	0	22	103	4.68	4.68
⑯	8	10	2	1	1	22	89	4.05	4.37
								4.69	4.65
TOTAL								4.53	4.64

教科担当者 木村 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 幼児合奏指導Ⅲ

回答者数 1 履修者数 1

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	履修者が1人であり、「合奏」にはなりにくかったが、楽器の使い方や体の使い方を含めて「合わせる」ことの意味を探った。当初の思いとはだいぶ違っていたが、学生とも丁寧な話し合いをしつつ授業を進められた点はよかったと思う。
2改善課題	履修者が少ないときの対応を考える。
3改善計画	2重奏、3重奏の課題を準備し、少人数のアンサンブルを楽しめるようにする。こどもの発達段階に合わせた楽器の用い方など実践的な課題を視聴覚教材などで学ぶ。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	1	—	3.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	1	0	0	1	—	3.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
③	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.79
⑤	0	1	0	0	0	1	4	4.00	4.53
⑥	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
⑦	0	1	0	0	0	1	4	4.00	4.54
								4.60	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.61
⑨	0	1	0	0	0	1	4	4.00	4.59
⑩	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.63
⑪	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.82
⑫	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑬	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.73
⑭	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.70
⑮	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.68
⑯	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.37
								4.89	4.65
TOTAL								4.56	4.64

教科担当者 木村 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 ハーモニーⅡ

回答者数 2 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	少人数の授業で、個人に合わせた課題を出すことが可能だったため、比較的スムーズに進行していったと思う。受講態度もまじめでよく努力していた。ただ一段階クリアすることにより、要求を高くしていったので、もう少しゆっくり進んでもよかったのではないかと感じている。可能性が見えると欲を出す傾向があり、それが内容の理解度を下げる原因にもなっている。
2改善課題	学生が安心して課題に取り組めるように、ステップ・バイ・ステップを心がける。
3改善計画	受講者が達成感を味わえるように、課題の作り方を工夫する。理論と実践を結びつけるために、課題の演奏に重点を置く。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	2	—	5.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	0	2	0	2	—	2.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	1	2	6	3.00	4.54
③	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.79
⑤	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.53
⑥	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
⑦	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
								4.60	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.61
⑨	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.59
⑩	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.63
⑪	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.82
⑫	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑬	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.73
⑭	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.70
⑮	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.68
⑯	0	2	0	0	0	2	8	4.00	4.37
								4.89	4.65
TOTAL								4.63	4.64

教科担当者 木村 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽史特殊講義 I

回答者数 2 履修者数 5

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 専攻科

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	活発な学生たちであり、授業は常に活気にあふれていた。授業内容としては、学生たちの普段のレパートリーでは比較的触れる機会が少ないバロック音楽であったが、授業で学生たちが行った発表はいずれも個性豊かで、よく調べてきているものが多かった。今後はこの力を活かせるような内容としていきたい。
2改善課題	演奏と理論および音楽史が有機的に結びつくような授業内容を考える。学生の理解度を把握して授業を進める。
3改善計画	15回を「講義と発表」という形に分けるのではなく、常に発表(演奏)と音楽史の問題を関連させ、学生の意見や演奏経験を授業に活かすようにする。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	0	1	0	0	2	—	4.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	0	1	1	2	—	1.50	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	1	2	6	3.00	4.54
③	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.79
⑤	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.53
⑥	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
⑦	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
								4.60	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.61
⑨	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.59
⑩	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.63
⑪	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.82
⑫	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑬	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.73
⑭	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.70
⑮	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.68
⑯	1	0	1	0	0	2	8	4.00	4.37
								4.89	4.65
TOTAL								4.53	4.64

教科担当者 馬込 勇、柏尾 剛徳

開講期 R4年度 前期

授業科目 合奏Ⅰ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ(吹奏楽)

回答者数 46 履修者数 48

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 1,2,3,4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	授業研究発表会を開催することにより、より高度な曲にも挑戦し、レベル向上等々一定の成果は上がってきている。
2改善課題	他の教科も含め、Webシラバスの存在が浸透していないようで、確認していない学生が多い。加えて習熟度に応じて内容に変更が生じ、シラバス通りに進まないことがあるのも事実。
3改善計画	改めてWebシラバスについての説明をし、確認させる。習熟度に応じて内容に変更が生じることもあるということの周知徹底。満足度が低い学生への配慮や授業内容の工夫を模索する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	32	11	3	0	0	46	—	4.63	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	28	8	8	2	0	46	—	4.35	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	45	0	0	0	1	46	226	4.91	4.54
③	35	0	0	0	11	46	186	4.04	4.79
⑤	42	4	0	0	0	46	226	4.91	4.53
⑥	40	6	0	0	0	46	224	4.87	4.65
⑦	33	9	3	1	0	46	212	4.61	4.54
								4.67	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	38	4	3	1	0	46	217	4.72	4.61
⑨	38	6	2	0	0	46	220	4.78	4.59
⑩	34	2	10	0	0	46	208	4.52	4.63
⑪	40	4	2	0	0	46	222	4.83	4.82
⑫	38	6	2	0	0	46	220	4.78	4.75
⑬	37	6	3	0	0	46	218	4.74	4.73
⑭	39	3	4	0	0	46	219	4.76	4.70
⑮	39	6	1	0	0	46	222	4.83	4.68
⑯	32	13	1	0	0	46	215	4.67	4.37
								4.74	4.65
TOTAL								4.68	4.64

教科担当者 馬込 勇、柏尾 剛徳

開講期 R4年度 前期

授業科目 アンサンブルⅠ、Ⅲ（オーケストラ）

回答者数 15 履修者数 17

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3,4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	前期のオーケストラスタディではアンサンブル基礎を中心とした楽曲を多く講義・演習出来たと考える。 管弦楽では数少ない、サクソフォンが入った編成での曲目も取り上げ、管弦打楽コース全員に管弦楽（オーケストラ）の経験をさせることができた。
2改善課題	ベートーヴェン第8番交響曲、ピゼーのアルルの女組曲第1第2共に、そしてショスタコーヴィチ第5番交響曲等学修したが、アナリーゼ的には時間が少なく改善が課題となる。 開始時間についての意見が出ていたが、しばらく練習や確認の時間を取らせているという意図が伝わっていないことがわかった。交響曲では通すだけで1時間程度かかる場合があるので、90分で収めるには難しいことが課題。
3改善計画	全体的に時間の制約があるので、アナリーゼをより深く学修させたいので、レポート等提出させて改善したい。 授業内容等の説明、理由や意図の説明等々きめ細やかな配慮をすること。できる限りたくさんの曲を経験できるよう選曲にも工夫をすること。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	12	2	1	0	0	15	—	4.73	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	9	3	2	1	0	15	—	4.33	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	15	0	0	0	0	15	75	5.00	4.54
③	12	0	0	0	3	15	63	4.20	4.79
⑤	11	4	0	0	0	15	71	4.73	4.53
⑥	13	2	0	0	0	15	73	4.87	4.65
⑦	10	2	2	1	0	15	66	4.40	4.54
								4.64	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	2	1	0	0	15	71	4.73	4.61
⑨	12	2	1	0	0	15	71	4.73	4.59
⑩	10	0	5	0	0	15	65	4.33	4.63
⑪	12	3	0	0	0	15	72	4.80	4.82
⑫	11	2	2	0	0	15	69	4.60	4.75
⑬	13	2	0	0	0	15	73	4.87	4.73
⑭	11	4	0	0	0	15	71	4.73	4.70
⑮	12	3	0	0	0	15	72	4.80	4.68
⑯	9	4	1	1	0	15	66	4.40	4.37
								4.67	4.65
TOTAL								4.64	4.64

教科担当者 馬込 勇、柏尾 剛徳

開講期 R4年度 前期

授業科目 アンサンブル研究 I (オーケストラ)

回答者数 2 履修者数 2

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 専攻科

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	専攻科にふさわしいオーケストラスタディを十分に学修してくれたと思う。 専攻科はこれまでの経験を活かし、より高度な演奏が求められるが、十分にそれらが発揮されている。
2改善課題	かなり高い水準の専攻生なので、後期はそれにふさわしい楽曲のもと改善課題としたい。 専攻科においては特になし
3改善計画	この能力に合わせた多くの楽曲を選曲することによって改善計画したい。 授業自体をさらに充実させるために、内容について研究し、濃いものにしていく。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	2	—	5.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	1	0	0	0	2	—	4.50	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
③	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.79
⑤	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.53
⑥	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
⑦	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
								5.00	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.61
⑨	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.59
⑩	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.63
⑪	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.82
⑫	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑬	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.73
⑭	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.70
⑮	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.68
⑯	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.97	4.64

教科担当者 馬込 勇、柏尾 剛徳

開講期 R4年度 前期

授業科目 合奏研究 I

回答者数 2 履修者数 2

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 専攻科

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	特に授業研究発表会における専攻科の役割は大きく、それ相応の演奏ができていることが良かったと思う。
2改善課題	今後4年生がいるパートにおいては、重要なポストを分け合う形を採らないとバランスが悪くなることもあり得るので、指導する側としてはその見極めが重要。
3改善計画	専攻科生にとって、より良い授業ができるよう、工夫と研究を行う。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	1	0	0	0	2	—	4.50	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	1	0	0	0	2	—	4.50	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
③	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.79
⑤	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.53
⑥	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
⑦	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
								5.00	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.61
⑨	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.59
⑩	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.63
⑪	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.82
⑫	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑬	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.73
⑭	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.70
⑮	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.68
⑯	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.94	4.64

教科担当者 亀井 裕子

開講期 R4年度 前期

授業科目 保育者論

回答者数 21 履修者数 22

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	1年生の専門科目としては、取り組みやすい内容と教材を準備したつもりであるが、なかなか理解ができなかった学生がいることは、反省すべき点である。しかし、意欲をもって学修に取り組んだ学生も多い。専門科目の学びを深めていくにあたって、入り口で関心を高めていくことは良かったと思う。学生の学びのペースを把握し、今後に繋げていけるようにしたい。
2改善課題	1年生から主体的な学びを身に付けていくためにも、課題の提示を丁寧にし、自分なりの考えをもって学修に臨めるようにしていく必要がある。事前の課題の精選と練り上げによって、学修への関心の高まりも期待できる。経験のない学生にとって事例を具体的に取り入れることで、理解度を高めていかなければならない。
3改善計画	事前課題については、学生の実態を的確に把握して取り入れていく。そのための実態調査を実施し、確実な実態把握に努めたい。保育現場における実践事例やエピソードを収集し、課題に対して効果的な事例を組み入れていく。対話的な学びのための課題設定についても実態調査をもとに、理解に繋げるための学修形態の工夫改善をしていく。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

							(人)		
		0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均 全体平均
①		7	10	4	0	0	21	—	4.14 4.29
		120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均 全体平均
④		0	0	7	8	6	21	—	2.05 2.81
		5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均 全体平均
②		19	0	0	0	2	21	97	4.62 4.54
③		21	0	0	0	0	21	105	5.00 4.79
⑤		16	5	0	0	0	21	100	4.76 4.53
⑥		17	4	0	0	0	21	101	4.81 4.65
⑦		16	5	0	0	0	21	100	4.76 4.54
								4.79	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	16	5	0	0	0	21	100	4.76	4.61
⑨	17	4	0	0	0	21	101	4.81	4.59
⑩	17	4	0	0	0	21	101	4.81	4.63
⑪	18	3	0	0	0	21	102	4.86	4.82
⑫	18	3	0	0	0	21	102	4.86	4.75
⑬	17	4	0	0	0	21	101	4.81	4.73
⑭	17	3	1	0	0	21	100	4.76	4.70
⑮	16	5	0	0	0	21	100	4.76	4.68
⑯	12	3	5	0	1	21	88	4.19	4.37
								4.74	4.65
TOTAL								4.55	4.64

教科担当者 亀井 裕子

開講期 R4年度 前期

授業科目 教職概論

回答者数 23 履修者数 24

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 2 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	保育者をめざす学生にとって「教職」という意識がほとんどなく、専門用語も多く出てくるために抵抗感があつた。しかし、学修を進めていくうちに徐々に必要な内容の理解はできてきたと思われる。学生にとって興味関心の高い内容ではないが、終始真面目に取り組む姿が見られた。
2改善課題	興味関心を高めるための導入における教材の工夫が必要である。さらに、理解を深めるために、個々の理解状況把握とそれに対する手立てをたてる。また、専門用語については、抵抗感を少なくするための導入のあり方が課題である。意欲が持続するための授業の組み立ても改善していく。
3改善計画	導入については、学生の経験をもとに実践例を具体的に取り入れる。意欲をもって取り組んだことが、十分な理解につながるために学生自身のこととして考える学修過程を取り入れていく。そのことが、学修内容の理解に繋がり、学生が自分のこととして学びを深めていくことになる。またVTRなど視覚的な教材を適切に取り入れ興味関心を高めていく。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	17	5	1	0	0	23	—	4.70	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	4	5	7	5	23	—	2.61	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	20	0	0	0	3	23	103	4.48	4.54
③	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.79
⑤	15	5	2	0	1	23	102	4.43	4.53
⑥	18	4	1	0	0	23	109	4.74	4.65
⑦	16	7	0	0	0	23	108	4.70	4.54
								4.67	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	15	7	1	0	0	23	106	4.61	4.61
⑨	15	6	2	0	0	23	105	4.57	4.59
⑩	15	8	0	0	0	23	107	4.65	4.63
⑪	16	7	0	0	0	23	108	4.70	4.82
⑫	17	6	0	0	0	23	109	4.74	4.75
⑬	17	6	0	0	0	23	109	4.74	4.73
⑭	15	7	1	0	0	23	106	4.61	4.70
⑮	17	5	1	0	0	23	108	4.70	4.68
⑯	13	8	2	0	0	23	103	4.48	4.37
								4.64	4.65

TOTAL	4.53	4.64
-------	------	------

教科担当者 亀井 裕子

開講期 R4年度 前期

授業科目 教育課程総論

回答者数 17 履修者数 17

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 3 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	教育課程の必要性を実感しないために学びへの意欲が高まらない。受け身的な授業傾向が強い。これまでも学修内容とともに教材及び資料の精選を行ってきたが、主体的な学びには至っていない。そのために、授業内容の理解が十分でない。主体的な学びのための教材と事例の研究を深めたい。
2改善課題	主体的な学びに向かう工夫が必要である。教育課程が、教育の基盤であることを理解し、そのうえで保育者に何が求められるのかを理解させるように学びの過程を見直していく。実際の現場での実践を提示することで、より実感をもって学修に向かうことができると思われる。現場の実践資料等を収集し授業への取り込みを工夫していく。
3改善計画	保育現場の資料をもとに学修過程の工夫を図っていく。現場の取組みは学生の関心を高めるために有効である。対話的な学びのための資料の収集と精選、提示の仕方を工夫し、学びの深まりに繋いでいく。学生同士の学び合いの充実のために授業展開と授業形態の見直しを図る。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	13	3	1	0	0	17	—	4.71	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	5	9	2	17	—	2.29	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	14	0	0	0	3	17	73	4.29	4.54
③	16	0	0	0	1	17	81	4.76	4.79
⑤	11	3	3	0	0	17	76	4.47	4.53
⑥	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.65
⑦	12	4	1	0	0	17	79	4.65	4.54
								4.59	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	3	2	0	0	17	78	4.59	4.61
⑨	12	3	2	0	0	17	78	4.59	4.59
⑩	12	5	0	0	0	17	80	4.71	4.63
⑪	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.82
⑫	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.75
⑬	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.73
⑭	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.70
⑮	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.68
⑯	8	8	1	0	0	17	75	4.41	4.37
								4.68	4.65
TOTAL								4.51	4.64

教科担当者 亀井 裕子、竹下 健太

開講期 R4年度 前期

授業科目 子育て支援

回答者数 26 履修者数 29

単位数 1 単位

授業形態 演習

開設学年 4 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	自由記述では、よく理解できたという内容が多いにもかかわらず、質問項目では数値が低い結果が出ている。理解できたという学生となかなか理解が難しかったという学生がいる。しかし、学生の疑問にも丁寧に応えることが出来ていて学生の満足度は高いと思われる。授業中の学生の態度については検討する必要がある。 このアンケートの自由記述や、私の授業では毎回書かせている授業の感想カードでは好意的な意見が多かったが、数値データでは、全体平均を下回っているものが多い。この理由は8回の授業のうち最初と最後を亀井先生に御担当いただいて、間の6回だけで、子育て支援について必要なことを全て話そうとしたので、学生の理解に個人差が大きかったためと思われる。
2改善課題	学修内容については現段階でも充実していると思われるが、事前事後学修をさらに検討していくことで内容定着度の高まりが期待できる。学生の授業中の姿勢や態度については、ある程度のけじめが必要であり、そのことによる学修の質の向上にも繋がっていくと思われる。授業形態の工夫も検討を重ねたい。 学生の理解度における個人差をなくすには、視覚、聴覚、身体感覚、実体験との関連付け等の様々なアプローチを用いることで、どのアプローチが適している学生に対しても、理解しやすい授業をする必要がある。時間的制約が厳しいなかで、様々なアプローチをどのように盛り込むかが今後の課題である。
3改善計画	保育者となる学生の学びの時間であるので、けじめのある授業は必須である。学生自身がどうあるべきかを考えるような指導のあり方を具体化していく。学生の学びの充実感を考慮し、事前事後学修のあり方、提示のしかた、課題設定などについて工夫改善をする。 様々なアプローチを盛り込むためには、個々のアプローチを簡潔にする必要がある。またそうすることで学生を飽きさせないことにもつながると思われる。よって授業計画を見直すつもりである。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	15	10	1	0	0	26	—	4.54	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	3	6	17	26	—	1.46	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	18	0	0	0	8	26	98	3.77	4.54
③	23	0	0	0	3	26	118	4.54	4.79
⑤	8	9	9	0	0	26	103	3.96	4.53
⑥	8	13	5	0	0	26	107	4.12	4.65
⑦	12	9	5	0	0	26	111	4.27	4.54
								4.13	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	10	7	9	0	0	26	105	4.04	4.61
⑨	11	6	9	0	0	26	106	4.08	4.59
⑩	14	9	3	0	0	26	115	4.42	4.63
⑪	21	4	1	0	0	26	124	4.77	4.82
⑫	19	4	3	0	0	26	120	4.62	4.75
⑬	22	1	3	0	0	26	123	4.73	4.73
⑭	14	5	6	1	0	26	110	4.23	4.70
⑮	18	4	4	0	0	26	118	4.54	4.68
⑯	6	11	6	3	0	26	98	3.77	4.37
								4.36	4.65

TOTAL								4.12	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 亀井 裕子、石岡 ひろみ、松岡 和男

開講期 R4年度 前期

授業科目 保育実習指導 I

回答者数 17 履修者数 18

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	1限目の授業であったため遅刻が多かった。3年生にとっては実習前の貴重な実践的学びの時間であり、もっと自覚を促す必要があった。また、授業内容をあまり理解できなかった学生もいることを考えると、個々の学生の学修内容の定着度を把握し個別の指導も必要である。実習に関する実務の部分については、重ねて指導をしてきたが、まだ十分でないものも見受けられる。 (実技を担当)実習を前に取り組むべき課題は理解しているが、その取り組みに個人差や取り組みの浅さがあった。実技を自分のものとする為に、繰り返し行うことの重要性を伝えることが不十分であったと感じる。 ○夏の実習に向けてできる限り実践的な内容で授業を行った。 ○特に、部分実習指導案は実際に立ててみて、修正を加えて、確かなものになるように配慮した。 ○振り返りを授業の中に設定し、授業者とともに考えられる授業形態をとった。
2改善課題	個別の時間を十分確保するのが難しいので、授業の中でいかに効率的に学びを深めていくかが課題である。個々の学びの実態を的確に把握し、学び合いを通して課題を解決していく。実習日誌や指導案など学生の不安感を払拭するための手立ても工夫改善していく。 事前学修・事後学修についての認識はあるもののその実施は徹底されていない。授業時間だけでは補えないところの学修にも課題がある。 ○1時間目ということもあったのか、遅刻、欠席が気になった。 ○部分実習指導案は例を出した上で立てさせ、そのうえで互いに修正を行う予定だったが時間が確保できなかった。
3改善計画	個人差の大きい日誌や指導案については、モデルを提示し理解を図るとともに、学生同士の学び合いを取り入れていくことで主体的な学びに繋げることができる。事後学修の有効活用で学修内容の定着を図る。実習に向けて、授業で取り扱うこと、個別に取り組むことを明確にし、学修内容の精選を図っていく。 実践力は繰り返し自ら学ぶことを深める中で高まることを明確に伝え、必要に応じ確認の場を設ける。 ○学生に受けてほしいという興味関心を持たせる授業内容を今後模索したい。 ○コロナ禍ということもあって、互いに指導案を検討しあうことを躊躇したが、ICT機器を駆使することによって可能であると思われるので研究したい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)									
	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	8	5	4	0	0	17	—	4.24	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	2	6	7	1	17	—	2.71	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	11	0	0	0	6	17	61	3.59	4.54
③	17	0	0	0	0	17	85	5.00	4.79
⑤	10	7	0	0	0	17	78	4.59	4.53
⑥	11	5	1	0	0	17	78	4.59	4.65
⑦	11	6	0	0	0	17	79	4.65	4.54
								4.48	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	5	0	0	0	17	80	4.71	4.61
⑨	12	5	0	0	0	17	80	4.71	4.59
⑩	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.63
⑪	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.82
⑫	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.75
⑬	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.73
⑭	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.70
⑮	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.68
⑯	8	7	2	0	0	17	74	4.35	4.37
								4.73	4.65
TOTAL								4.50	4.64

教科担当者 桑原 理恵

開講期 R4年度 前期

授業科目 ソルフェージュⅤ

回答者数 5 履修者数 9

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	受講生のソルフェージュ能力に少し差があったことが、技能の高まりや到達目標の達成の評価が他の項目より低い評価になっていると推測する。しかし、事前事後学修によって理解は進んでいるという評価から、Teamsによる事前・事後学修の課題提出は効果的だったと判断する。一人一人の力をつけるための授業の組み立てに工夫が必要だった。
2改善課題	演習課題を行う際に必要な基礎力(和音・調性)の向上
3改善計画	基礎力(和音・調性)向上のための演習を毎回繰り返して行う。また、履修学生の演奏・創作活動に必要なソルフェージュ力をつけるための演習課題を取り入れる。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	2	2	1	0	0	5	—	4.20	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	1	4	0	5	—	2.20	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.54
③	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.79
⑤	4	1	0	0	0	5	24	4.80	4.53
⑥	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.65
⑦	4	0	1	0	0	5	23	4.60	4.54
								4.88	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.61
⑨	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.59
⑩	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.63
⑪	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.82
⑫	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.75
⑬	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.73
⑭	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.70
⑮	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.68
⑯	4	0	1	0	0	5	23	4.60	4.37
								4.96	4.65

TOTAL								4.71	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 桑原 理恵

開講期 R4年度 前期

授業科目 アンサンブル I (声楽)

回答者数 3 履修者数 5

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	声楽必修科目であるのに関わらず、事前事後学修をやっていない学生がいる。しかし、学修する楽曲に必要なアンサンブルのためのエクササイズを行い、ポイントを意識させたり、楽譜を読み解く演習内容を加えたことが、理解度の深まりの評価につながった。読譜力の弱さが目標到達の評価につながっていると推測する。言葉、リズム、旋律を捉える力を育てる演習内容をさらに加える必要がある。
2改善課題	ソルフェージュ力、楽譜を読み解く力、歌唱力の向上
3改善計画	課題楽曲のフレーズを抜き取って部分的にリズム・ハーモニー・旋律について学修する。また、楽曲の構造を整理し、各フレーズに必要な技術を探っていく。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	1	1	0	0	3	—	4.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	2	0	0	1	3	—	3.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.54
③	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.79
⑤	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.53
⑥	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.65
⑦	1	2	0	0	0	3	13	4.33	4.54
								4.80	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.61
⑨	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.59
⑩	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.63
⑪	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.82
⑫	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑬	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.73
⑭	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.70
⑮	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.68
⑯	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.37
								4.96	4.65
TOTAL								4.73	4.64

教科担当者 桑原 理恵

開講期 R4年度 前期

授業科目 オペラ研究 I

回答者数 2 履修者数 2

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	今年度は授業にイタリア人講師によるイタリア語の発音のレッスンを取り入れた。そのことが技能の高まりの評価につながったと考える。2名の回答学生は欠席および事前事後学修時間に差があることで各々の到達目標達成にも差が生じている。意欲がある学生なので、事前事後学修および授業出席に結びつくような課題提示と授業内容の工夫をさらに行っていきたい。
2改善課題	事前事後学修の充実と確認
3改善計画	後期は音楽に加えて演技を学ぶ。オペラの演目毎にグループで事前事後学修を行うことができるように課題を提示する。演技練習においては授業での録画映像から課題を見つけ、鏡のある教室での練習を事前事後学修とする。音楽においては楽譜から表現を読み取ることを学修していくことでさらに学びを深める。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	1	2	—	2.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	0	0	1	0	2	—	3.50	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	1	2	6	3.00	4.54
③	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.79
⑤	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.53
⑥	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.65
⑦	1	0	0	1	0	2	7	3.50	4.54
								4.20	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.61
⑨	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.59
⑩	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.63
⑪	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.82
⑫	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑬	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.73
⑭	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.70
⑮	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.68
⑯	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.37
								4.94	4.65
TOTAL								4.44	4.64

教科担当者 桑原 理恵

開講期 R4年度 前期

授業科目 オペラ研究Ⅲ

回答者数 1 履修者数 2

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 専攻科

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	回答学生は事前事後学修時間を多く確保し、無欠席で真面目に授業に取り組んでいることがわかる。そのことが理解、および技能の高まりの評価につながっていると推測する。自身の到達目標の評価がやや低いのは謙虚に授業に取り組んでいるからである。今後は達成感につながるような指導をおこなっていきたい。
2改善課題	具体的な課題と練習方法の提示
3改善計画	オペラの楽曲を演奏するときに準備しなければならない項目を挙げ、そのために必要な練習方法を具体的に提示する。またその練習方法がどのように作用したかを学生とともに探る。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	0	0	0	0	1	—	5.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	0	0	0	1	—	4.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
③	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.79
⑤	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.53
⑥	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
⑦	0	1	0	0	0	1	4	4.00	4.54
								4.80	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.61
⑨	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.59
⑩	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.63
⑪	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.82
⑫	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑬	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.73
⑭	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.70
⑮	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.68
⑯	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.88	4.64

教科担当者 松崎 伶子

開講期 R4年度 前期

授業科目 アンサンブルⅢA(ピアノ)

回答者数 1 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	ピアノだけのアンサンブルをするには二人で連弾をするのが一般的だが、このクラスは三名だったのでピアノ1台6手で出来る曲を考えたが、前期はコロナで三名が密状態になり実現出来なかった。
2改善課題	コロナの状況を見ながら校内で演奏の機会があるのを待ち、有名なオーケストラの曲の編曲ものを1台6手演奏するチャンスを皆楽しみに準備していた。
3改善計画	このクラスは三名なので密にならない様に一番広い教室を頂き、三名がそれぞれに楽しみながら良い環境で勉強出来ている様に感じたがコロナでなかなか実力発揮とまではいかなかった。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	1	—	3.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	1	0	0	1	—	3.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
③	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.79
⑤	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.53
⑥	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
⑦	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
								5.00	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.61
⑨	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.59
⑩	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.63
⑪	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.82
⑫	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑬	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.73
⑭	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.70
⑮	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.68
⑯	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.75	4.64

教科担当者 川口 みさき

開講期 R4年度 前期

授業科目 アンサンブル I (ピアノ)

回答者数 4 履修者数 4

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	授業計画に従い順調に学期を終えることができた。学生同士のコミュニケーションがよく取れているクラスで指導もやり易い。曲の完成度は高いが曲数が少ないことが今後の課題である。
2改善課題	実力のバランスが取れ、きれいに連弾曲をまとめることができるが、曲目や作曲者に対する知識が少なく積極的に自ら動かない。授業までにそれぞれが調べてくるよう改善させる。
3改善計画	相手の音色を良く聴くために、ピアノ連弾のプリモ・セコンドの両方が弾けるよう促す。ピアノ連弾において自分の音を良く聴き相手とのバランスが取れるよう工夫する。お互いに合わせる回数を増やして内容を深める。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	3	1	0	0	0	4	—	4.75	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	3	1	0	0	0	4	—	4.75	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.54
③	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.79
⑤	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.53
⑥	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.65
⑦	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.54
								4.95	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.61
⑨	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.59
⑩	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.63
⑪	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.82
⑫	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.75
⑬	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.73
⑭	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.70
⑮	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.68
⑯	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.37
								4.94	4.65
TOTAL								4.92	4.64

教科担当者 川口 みさき

開講期 R4年度 前期

授業科目 アンサンブルⅢB(ピアノ)

回答者数 3 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	授業計画に従い順調に学期を終えることができた。学生同士のコミュニケーションがよく取れているクラスなので練習量も多く、指導もやり易い。曲数も積極的に学生が増やして練習する意気込みがある。ピアノコンチェルトという初めての取り組みに全員が生き生きと取り組んでいる。
2改善課題	アンサンブルにおいて自分の音を良く聴き、相手とのバランスが取れるよう工夫する。指揮を見ながら演奏することを学ぶ。
3改善計画	相手の音色を良く聴くために、オーケストラパートも弾けるように学修する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	2	1	0	0	0	3	—	4.67	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	0	1	0	0	3	—	4.33	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.54
③	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.79
⑤	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.53
⑥	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.65
⑦	1	2	0	0	0	3	13	4.33	4.54
								4.73	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.61
⑨	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.59
⑩	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.63
⑪	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.82
⑫	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑬	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.73
⑭	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.70
⑮	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.68
⑯	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.37
								4.93	4.65
TOTAL								4.81	4.64

教科担当者 眞鍋 協子

開講期 R4年度 前期

授業科目 伴奏法ⅠA

回答者数 7 履修者数 7

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	教員採用試験の課題曲の修得に主に取り組んだ。楽譜通りに演奏するだけでなく、美しい音で曲の内容にあった音楽づくりを研究し、お互いの演奏を聴くことで「伴奏のあるべき姿」について探り、必要とされる技術や音楽へ向かう姿勢を認識し合う態度が見られた。
2改善課題	移調奏や弾き歌いなど、基礎となるソルフェージュ力がやや弱い傾向が見られる。卒業後の活動にも大きく関わることなので、基本的な問題にいていねいに取り組むなど基礎力を強化する必要がある。
3改善計画	課題曲の修得だけでなく、簡単な伴奏付けやコード奏などに自信をもって取り組めるよう、学校現場や音楽教室での活動を想定した具体性のある学修活動をさらに研究する。評価基準をさらに細分化し、自らの課題を見通しやすくすることで主体的な学びにつなげたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	5	0	1	1	0	7	—	4.29	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	4	2	1	0	7	—	3.43	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	2	7	27	3.86	4.54
③	6	0	0	0	1	7	31	4.43	4.79
⑤	5	2	0	0	0	7	33	4.71	4.53
⑥	6	0	1	0	0	7	33	4.71	4.65
⑦	4	2	1	0	0	7	31	4.43	4.54
								4.43	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.61
⑨	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.59
⑩	6	0	1	0	0	7	33	4.71	4.63
⑪	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.82
⑫	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.75
⑬	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.73
⑭	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.70
⑮	6	0	0	0	1	7	31	4.43	4.68
⑯	5	2	0	0	0	7	33	4.71	4.37
								4.83	4.65

TOTAL								4.58	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 眞鍋 協子

開講期 R4年度 前期

授業科目 伴奏法ⅠB

回答者数 18 履修者数 18

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	教員採用試験のための課題曲の修得を目指し、それぞれの事前事後学習の練習ペースを探りながらいい取り組みにに取り組んだ。全員が教員免許状取得を目指す学生なので、実技試験でのポイントとなる「弾き歌い」の力を身に付けるため、まじめな態度で臨んでいた。
2改善課題	大学入学までにある程度ピアノ演奏経験がある者と、入学前後に初めて本式にピアノを始めた者との仕上がり具合や期間に大きな開きが見られる。経験が少ない者は自信をなくしがちになるため、指導に工夫が必要である。
3改善計画	事前学習(事前練習)に細やかなステップを設定し、達成感を得やすくし次のステップを目指す気持ちを高めるなど、学生の気持ちに寄り添った授業内容を設定し、合理的かつ主体的に自らの力を伸ばせるような学修活動を目指す。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	9	6	3	0	0	18	—	4.33	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	9	3	5	1	0	18	—	4.11	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	11	0	0	0	7	18	62	3.44	4.54
③	18	0	0	0	0	18	90	5.00	4.79
⑤	13	5	0	0	0	18	85	4.72	4.53
⑥	15	3	0	0	0	18	87	4.83	4.65
⑦	13	5	0	0	0	18	85	4.72	4.54
								4.54	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	1	0	0	0	18	89	4.94	4.61
⑨	15	3	0	0	0	18	87	4.83	4.59
⑩	16	2	0	0	0	18	88	4.89	4.63
⑪	17	1	0	0	0	18	89	4.94	4.82
⑫	14	4	0	0	0	18	86	4.78	4.75
⑬	17	1	0	0	0	18	89	4.94	4.73
⑭	17	1	0	0	0	18	89	4.94	4.70
⑮	15	3	0	0	0	18	87	4.83	4.68
⑯	10	7	1	0	0	18	81	4.50	4.37
								4.84	4.65
TOTAL								4.67	4.64

教科担当者 眞鍋 協子

開講期 R4年度 前期

授業科目 伴奏法Ⅲ

回答者数 3 履修者数 6

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	伴奏法Ⅰ・Ⅱを履修しさらに力をつけたい、身に付けたことを磨き上げたいという目標を持って、学生は真剣に取り組んでいた。教育現場で広く活用しやすい曲を選び、すぐに使えるような身近な曲の伴奏付けや演奏法について学んだり、自らの主科の楽器の伴奏曲に挑戦するなど意欲をもって取り組んでいた。
2改善課題	演奏力を上げるためには、毎日の練習が定着していることが絶対必要である。自らの学修スケジュールの管理が十分には出来ていないため、学生によっては練習不足に陥っている時期もあった。
3改善計画	学生一人一人に寄り添った学修支援計画を設定し、少人数のメリットを生かし力を伸ばすプログラムを工夫する。伴奏法Ⅰ・Ⅱからの観察を続け、強化すべき課題を見出し達成目標に向けて指導を続ける。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	1	1	0	0	3	—	4.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	3	0	0	0	0	3	—	5.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.54
③	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.79
⑤	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.53
⑥	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
⑦	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.54
								4.93	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.61
⑨	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.59
⑩	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.63
⑪	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.82
⑫	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑬	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.73
⑭	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.70
⑮	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.68
⑯	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.37
								4.96	4.65

TOTAL								4.90	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 村橋 和子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽療法演習Ⅲ

回答者数 3 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	少人数の授業であるため、学生のレベルに合わせて行いやすい。その反面、シラバス通りにいかない点もあり、反省している。アンケートにもあるように専門の教科であるため、理解が難しい点も多いと思う。よってシラバス通りに進まないこともあるが、授業者としては、シラバス通りに進むことより、学生の力を向上させることを重要視したい。
2改善課題	シラバスに沿って授業を進める。学生の理解度を深める。
3改善計画	シラバスを計画する段階で、時間にゆとりを持つ。学生が書籍や論文を読む体験を増やし、授業でもそれを行う。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	3	2	3	0	0	8	—	4.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	3	2	3	0	0	8	—	4.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	1	8	36	4.50	4.54
③	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.79
⑤	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.53
⑥	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.65
⑦	7	1	0	0	0	8	39	4.88	4.54
								4.88	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.61
⑨	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.59
⑩	5	2	1	0	0	8	36	4.50	4.63
⑪	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.82
⑫	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.75
⑬	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.73
⑭	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.70
⑮	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.68
⑯	4	4	0	0	0	8	36	4.50	4.37
								4.89	4.65

TOTAL								4.77	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 村橋 和子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽療法演習Ⅶ

回答者数 1 履修者数 1

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	1名の授業であるため、個別対応が可能となり、学生のレベルに応じた内容が学習できることはとても良い。学生自身も能力、意欲共に高く充実していると感じている。しかし、その半面、この授業では友人と切磋琢磨する経験などできないため、他の場面でそのような体験できるよう注意している。
2改善課題	現在の所、課題は特になし。授業そのものというより、学生の色々な環境を整え、学びの質が向上できるよう大学での全般的な生活にも目を向け、サポートする。卒業論文ともつながるので、その点についても学生がスムーズに学べる環境を整える。
3改善計画	学生と情報交換を密に行い、勉学環境を整える。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	0	1	0	0	0	1	—	4.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	0	0	0	0	1	—	5.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
③	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.79
⑤	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.53
⑥	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
⑦	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
								5.00	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.61
⑨	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.59
⑩	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.63
⑪	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.82
⑫	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑬	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.73
⑭	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.70
⑮	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.68
⑯	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.94	4.64

教科担当者 村橋 和子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽療法基礎理論 I

回答者数 21 履修者数 22

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 音楽・こども

【改善計画】

1自己評価	全体的に学生は真面目に取り組んでいたと思う。時に居眠りや携帯を見る者もいたが、教師は注意し続けた。例年ではあるが、内容が理解できないという結果となっているが、専門的な授業なのである程度、理解できないのは仕方がないと考えている。しっかりと学んだからこそ、難しいと感じるのではないだろうか？
2改善課題	事前事後学修の時間は平均より上回り、よく頑張っていると思う。さらに理解度を上げるためには読解力の向上が必要だと考える。
3改善計画	事前事後学修については、これまでの方法を継続する。また読解力をつけるために、本を読んで、重要項目についてまとめる、という課題を適宜入れていきたいと考える。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしましたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	7	8	5	1	0	21	—	4.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	8	8	3	0	21	—	3.43	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	20	0	0	0	1	21	101	4.81	4.54
③	21	0	0	0	0	21	105	5.00	4.79
⑤	15	6	0	0	0	21	99	4.71	4.53
⑥	16	4	1	0	0	21	99	4.71	4.65
⑦	15	5	1	0	0	21	98	4.67	4.54
								4.78	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	16	5	0	0	0	21	100	4.76	4.61
⑨	19	2	0	0	0	21	103	4.90	4.59
⑩	14	7	0	0	0	21	98	4.67	4.63
⑪	20	1	0	0	0	21	104	4.95	4.82
⑫	19	2	0	0	0	21	103	4.90	4.75
⑬	19	2	0	0	0	21	103	4.90	4.73
⑭	18	2	1	0	0	21	101	4.81	4.70
⑮	17	4	0	0	0	21	101	4.81	4.68
⑯	7	10	4	0	0	21	87	4.14	4.37
								4.76	4.65
TOTAL								4.64	4.64

教科担当者 村橋 和子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽療法演習(各論)

回答者数 8 履修者数 11

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 2 年次

学科 音楽・こども

【改善計画】

1自己評価	学生は難しい内容ながらもよく勉強していたと思う。理解度はアンケートでは低いが、専門分野なので簡単ではないので、しっかり勉強したからこそ難しいと感じるのではないかな？
2改善課題	学生が作成するレジュメにて授業を進めてきたが、難しく感じる学生が増えていると思う。理解度を深める必要がある。
3改善計画	学生の自主的な学びは継続しながら、授業者の説明による時間を増やす。さらに書籍を読むことを増やし、読解力を身に着ける。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	5	1	2	0	0	8	—	4.38	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	2	3	1	0	8	—	3.63	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	1	8	36	4.50	4.54
③	8	0	0	0	0	8	40	5.00	4.79
⑤	7	1	0	0	0	8	39	4.88	4.53
⑥	7	1	0	0	0	8	39	4.88	4.65
⑦	5	3	0	0	0	8	37	4.63	4.54
								4.78	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	6	2	0	0	0	8	38	4.75	4.61
⑨	6	2	0	0	0	8	38	4.75	4.59
⑩	4	2	2	0	0	8	34	4.25	4.63
⑪	6	2	0	0	0	8	38	4.75	4.82
⑫	6	1	1	0	0	8	37	4.63	4.75
⑬	6	2	0	0	0	8	38	4.75	4.73
⑭	7	1	0	0	0	8	39	4.88	4.70
⑮	7	1	0	0	0	8	39	4.88	4.68
⑯	3	4	1	0	0	8	34	4.25	4.37
								4.65	4.65
TOTAL								4.61	4.64

教科担当者 村橋 和子

開講期 R4年度 前期

授業科目 弾き歌いⅠ

回答者数 7 履修者数 16

単位数 1 単位

授業形態 演習

開設学年 1 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	①履修者が例年より多く、後半の個人レッスンが授業時間内に入らず、別枠の時間でレッスンを行ったため、学生へは負担増加となってしまったかもしれない。 ②学生たちは皆、真面目に課題に取り組み、ほとんどの学生は各自の課題曲を仕上げた。しかし中にはなかなか自分の課題曲の練習ができず、成果に結びつかない学生もいた。
2改善課題	①については今後、履修者が多くなれば、現在の授業形態を変革する必要がある。 ②については、学びの目的が明確でない、またはその意欲が低い学生へのアプローチをいかに伸ばすか、が課題である。
3改善計画	①については、ピアノでの弾き歌いをやめ、各自の電子キーボードで練習しているのを指導者が見て回る方式に改変する。 ②については、非常に難しいが、目標のステップを細分し学生自身が成果を感じられるよう指導する。できる学生については、芸術性やより音楽的な演奏ができるよう指導する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	3	3	1	0	0	7	—	4.29	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	0	5	0	0	7	—	3.57	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.54
③	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.79
⑤	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.53
⑥	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.65
⑦	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.54
								4.94	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.61
⑨	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.59
⑩	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.63
⑪	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.82
⑫	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.75
⑬	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.73
⑭	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.70
⑮	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.68
⑯	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.37
								4.97	4.65
TOTAL								4.83	4.64

教科担当者 石岡 ひろみ

開講期 R4年度 前期

授業科目 表現技術

回答者数 16 履修者数 19

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	子どもたちが心を動かしたり感性を働かせたりする一助となるように、制作や発表を通して学生自身の感性を高め、表現技術を磨き合うことに繋がった。今回後半に取り組んだ「エプロンシアター」は、個々人の作品ではあるが、制作過程においてどのような工夫をなすべきか、どのように表現すれば子ども達の心に届くか、お互いに熱心に取り組み、よい学び合いとなった。
2改善課題	制作に関しては個別対応を図ったのだが、苦手意識をもつ学生もあり、全体の授業進行にも影響した。
3改善計画	同一の期限を設けるのではなく、個人のスキルに応じた対応も必要であるかもしれない。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	11	3	2	0	0	16	—	4.56	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	12	4	0	0	0	16	—	4.75	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	13	0	0	0	3	16	68	4.25	4.54
③	16	0	0	0	0	16	80	5.00	4.79
⑤	12	4	0	0	0	16	76	4.75	4.53
⑥	13	3	0	0	0	16	77	4.81	4.65
⑦	12	4	0	0	0	16	76	4.75	4.54
								4.71	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	14	2	0	0	0	16	78	4.88	4.61
⑨	13	3	0	0	0	16	77	4.81	4.59
⑩	14	2	0	0	0	16	78	4.88	4.63
⑪	14	2	0	0	0	16	78	4.88	4.82
⑫	13	3	0	0	0	16	77	4.81	4.75
⑬	14	2	0	0	0	16	78	4.88	4.73
⑭	14	2	0	0	0	16	78	4.88	4.70
⑮	14	2	0	0	0	16	78	4.88	4.68
⑯	10	6	0	0	0	16	74	4.63	4.37
								4.84	4.65
TOTAL								4.78	4.64

教科担当者 石岡 ひろみ

開講期 R4年度 前期

授業科目 こどもの体育 I

回答者数 17 履修者数 19

単位数 1 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	実習を前に、子どもたちの発育・発達に応じた具体的な運動あそびの実践を通して、その意義や重要性を概ね認識することができた。8回しかない中での適切な補助・指導までは及ばなかったと感じている。実習園での観察、実践に期待したい。
2改善課題	取り組む必要性を感じる内容と回数が合わない。(8回しかない中でどのように深く学び合うのか。) 模擬保育における取り組みに個人差が見られる。
3改善計画	必要に応じ、特別実践の場を設ける。事前学修・事後学修に更に重きをおくようにする。個別対応の徹底を図る。実践における個別指導を行う。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	8	8	1	0	0	17	—	4.41	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	4	3	3	6	1	17	—	3.18	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	17	0	0	0	0	17	85	5.00	4.54
③	17	0	0	0	0	17	85	5.00	4.79
⑤	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.53
⑥	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.65
⑦	11	6	0	0	0	17	79	4.65	4.54
								4.85	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	15	2	0	0	0	17	83	4.88	4.61
⑨	15	2	0	0	0	17	83	4.88	4.59
⑩	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.63
⑪	16	1	0	0	0	17	84	4.94	4.82
⑫	16	0	1	0	0	17	83	4.88	4.75
⑬	16	1	0	0	0	17	84	4.94	4.73
⑭	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.70
⑮	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.68
⑯	7	10	0	0	0	17	75	4.41	4.37
								4.80	4.65

TOTAL								4.69	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 石岡 ひろみ

開講期 R4年度 前期

授業科目 造形表現

回答者数 26 履修者数 29

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 4 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	個人差はあるものの、造形表現活動を通して、プロセスの中で見えたり聞こえたりするものを受け止め、子どもたちが楽しみながら絵画や制作等に関わるために必要な知識や技術を修得することができた。造形表現あそびの指導ができるようになるためには、更に実践経験を積む必要があると感じる。
2改善課題	シラバスに沿って進めていくうえで、事前学修・準備に個人差が見られた。
3改善計画	teamsの「造形表現」チームを作成し「課題」を活用する。各自が事前学修・事後学修として取り組みを報告する回を設けるようにする。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	13	9	4	0	0	26	—	4.35	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	4	4	9	9	26	—	2.12	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	22	0	0	0	4	26	114	4.38	4.54
③	26	0	0	0	0	26	130	5.00	4.79
⑤	19	3	4	0	0	26	119	4.58	4.53
⑥	22	4	0	0	0	26	126	4.85	4.65
⑦	23	3	0	0	0	26	127	4.88	4.54
								4.74	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	19	3	4	0	0	26	119	4.58	4.61
⑨	18	6	2	0	0	26	120	4.62	4.59
⑩	22	2	2	0	0	26	124	4.77	4.63
⑪	23	3	0	0	0	26	127	4.88	4.82
⑫	24	2	0	0	0	26	128	4.92	4.75
⑬	24	1	1	0	0	26	127	4.88	4.73
⑭	24	2	0	0	0	26	128	4.92	4.70
⑮	24	2	0	0	0	26	128	4.92	4.68
⑯	19	7	0	0	0	26	123	4.73	4.37
								4.80	4.65
TOTAL								4.59	4.64

教科担当者 竹下 健太

開講期 R4年度 前期

授業科目 発達心理学

回答者数 30 履修者数 33

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	このアンケートや授業毎に行っている感想カードはおおむね好意的であったが、数値データを見ると事前事後学習において、学生の主体的な学びを引き出すのが不十分であったようである。
2改善課題	事前事後学習における主体的な学びを促進するために、適切な課題等を作成する必要がある。
3改善計画	事前事後学習に適した課題を授業での反応を観ながら学生に合わせて作成する必要がある。シラバスに書いた事前事後学習を大まかな枠組みとして、取り組みやすい具体的な課題を毎授業作成しようと思う。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	15	10	3	2	0	30	—	4.27	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	5	13	12	30	—	1.77	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	22	0	0	0	8	30	118	3.93	4.54
③	26	0	0	0	4	30	134	4.47	4.79
⑤	12	11	7	0	0	30	125	4.17	4.53
⑥	18	9	3	0	0	30	135	4.50	4.65
⑦	16	12	2	0	0	30	134	4.47	4.54
								4.31	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	8	5	0	0	30	132	4.40	4.61
⑨	15	7	8	0	0	30	127	4.23	4.59
⑩	21	5	3	1	0	30	136	4.53	4.63
⑪	29	1	0	0	0	30	149	4.97	4.82
⑫	25	5	0	0	0	30	145	4.83	4.75
⑬	27	2	1	0	0	30	146	4.87	4.73
⑭	22	8	0	0	0	30	142	4.73	4.70
⑮	25	4	1	0	0	30	144	4.80	4.68
⑯	11	13	6	0	0	30	125	4.17	4.37
								4.61	4.65
TOTAL								4.32	4.64

教科担当者 竹下 健太

開講期 R4年度 前期

授業科目 教育相談

回答者数 14 履修者数 14

単位数 1 単位

授業形態 講義

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	質問項目⑬の値が低いことが問題である。教育相談に必要なカウンセリング技法の練習を毎授業行ったが、学生達はそれによって技法をマスターできたとは思わなかったようである。確かにカウンセリング技法は難しい側面もあるが、学校教員として使えるレベルまで習得するのは不可能なことではない。授業の目標設定を見直すべきであると思われる。
2改善課題	プロのカウンセラーレベルではなく、学校教員としてカウンセリングの理論や技法をある程度マスターすることが目標であることを学生に意識させる必要がある。
3改善計画	学校教員として必要なレベルのカウンセリングの理論や技法をイメージしやすくするために、実例をなるべく使うつもりである。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	9	2	3	0	0	14	—	4.43	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	3	6	5	14	—	1.86	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	11	0	0	0	3	14	58	4.14	4.54
③	12	0	0	0	2	14	62	4.43	4.79
⑤	6	3	4	0	1	14	55	3.93	4.53
⑥	7	6	0	1	0	14	61	4.36	4.65
⑦	6	6	2	0	0	14	60	4.29	4.54
								4.23	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	9	4	1	0	0	14	64	4.57	4.61
⑨	8	5	1	0	0	14	63	4.50	4.59
⑩	12	0	2	0	0	14	66	4.71	4.63
⑪	13	1	0	0	0	14	69	4.93	4.82
⑫	12	2	0	0	0	14	68	4.86	4.75
⑬	12	2	0	0	0	14	68	4.86	4.73
⑭	10	2	0	2	0	14	62	4.43	4.70
⑮	9	5	0	0	0	14	65	4.64	4.68
⑯	3	8	2	1	0	14	55	3.93	4.37
								4.60	4.65
TOTAL								4.30	4.64

教科担当者 竹下 健太

開講期 R4年度 前期

授業科目 キャリア教育の理論と方法

回答者数 11 履修者数 14

単位数 1 単位

授業形態 講義

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	この授業は教育相談の授業8週間をふまえて、キャリア教育について学ぶものであった。教育相談と同じく、質問項目⑯の値が低いことが問題である。キャリア教育に必要なカウンセリング技法の練習を毎授業行ったが、学生達はそれによって技法をマスターできたとは思わなかったようである。確かにカウンセリング技法は難しい側面もあるが、学校教員として使えるレベルまで習得するのは不可能なことではない。授業の目標設定を見直すべきであると思われる。
2改善課題	プロのキャリアコンサルタントレベルではなく、学校教員としてキャリア相談の理論や技法をある程度マスターすることが目標であることを学生に意識させる必要がある。
3改善計画	学校教員として必要なレベルのキャリア相談の理論や技法をイメージしやすくするために、実例をなるべく使うつもりである。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	6	3	2	0	0	11	—	4.36	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	0	7	4	11	—	1.64	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	10	0	0	0	1	11	51	4.64	4.54
③	10	0	0	0	1	11	51	4.64	4.79
⑤	6	2	3	0	0	11	47	4.27	4.53
⑥	6	2	2	1	0	11	46	4.18	4.65
⑦	6	3	2	0	0	11	48	4.36	4.54
								4.42	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	7	1	3	0	0	11	48	4.36	4.61
⑨	7	1	3	0	0	11	48	4.36	4.59
⑩	6	3	2	0	0	11	48	4.36	4.63
⑪	8	2	1	0	0	11	51	4.64	4.82
⑫	7	3	1	0	0	11	50	4.55	4.75
⑬	8	2	1	0	0	11	51	4.64	4.73
⑭	6	4	1	0	0	11	49	4.45	4.70
⑮	6	4	1	0	0	11	49	4.45	4.68
⑯	3	4	3	1	0	11	42	3.82	4.37
								4.40	4.65
TOTAL								4.23	4.64

教科担当者 竹下 健太

開講期 R4年度 前期

授業科目 保育の心理学

回答者数 15 履修者数 17

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 3 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	質問項目②と⑫の値が低いのが問題であり、この二つはおそらく関連している。すなわち、授業の内容をわかりやすくする工夫をもっとすれば、遅刻や途中退席は少なくできると思われる。
2改善課題	授業において毎回書かせている感想カードにを参考に、毎授業わかりやすくする工夫をしていたつもりであったが、足りなかったようである。学生の実体験に近いと思われる具体例をもっと多用し、学生達が理論的内容を自分の体験に関連付けて理解できるようにする必要がある。
3改善計画	学生の実体験に近いと思われる具体例を、文献等から集め、授業に取り込んでいくつもりである。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	7	4	4	0	0	15	—	4.20	4.29

	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	2	8	4	15	—	2.00	2.81

	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	9	0	0	0	6	15	51	3.40	4.54
③	15	0	0	0	0	15	75	5.00	4.79
⑤	7	6	2	0	0	15	65	4.33	4.53
⑥	9	5	1	0	0	15	68	4.53	4.65
⑦	7	6	2	0	0	15	65	4.33	4.54
								4.32	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	10	3	2	0	0	15	68	4.53	4.61
⑨	10	3	2	0	0	15	68	4.53	4.59
⑩	10	5	0	0	0	15	70	4.67	4.63
⑪	13	2	0	0	0	15	73	4.87	4.82
⑫	9	3	3	0	0	15	66	4.40	4.75
⑬	12	3	0	0	0	15	72	4.80	4.73
⑭	8	5	2	0	0	15	66	4.40	4.70
⑮	9	4	2	0	0	15	67	4.47	4.68
⑯	6	7	2	0	0	15	64	4.27	4.37
								4.55	4.65
TOTAL								4.30	4.64

教科担当者 西林 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽理論 I B

回答者数 19 履修者数 29

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	履修者は多いが、明るく良い雰囲気で行うことができた。授業態度は良く、課題の取り組みもほとんどの学生が大変良かった。Teamsを活用し、事前事後学習で、課題にも取り組んだ。提出された課題は添削指導を行うため、授業外での時間がかかりかかる。遠隔授業希望者へのプリント物の送信・連絡が手間がかかった。内容は昨年までの内容をより詳しく指導することができた。
2改善課題	授業と課題、添削を行うことで、ほとんどの学生は、習得すべき項目を把握できているが、数名どうしても内容にも追いつけない学生がいる。オフィスパワーを活用して個別に対面指導を行ったが、なかなか厳しい状況である。
3改善計画	フォローアップ用の指導内容を準備する。(スモールステップ課題) 学生間でも尋ねやすいような雰囲気を作る。習得内容(シラバス)の見直し。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	10	2	6	0	1	19	—	4.05	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	5	9	3	1	19	—	3.11	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	16	0	0	0	3	19	83	4.37	4.54
③	16	0	0	0	3	19	83	4.37	4.79
⑤	11	5	2	0	1	19	82	4.32	4.53
⑥	15	3	1	0	0	19	90	4.74	4.65
⑦	11	4	4	0	0	19	83	4.37	4.54
								4.43	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	16	2	1	0	0	19	91	4.79	4.61
⑨	16	2	1	0	0	19	91	4.79	4.59
⑩	14	2	3	0	0	19	87	4.58	4.63
⑪	19	0	0	0	0	19	95	5.00	4.82
⑫	19	0	0	0	0	19	95	5.00	4.75
⑬	18	1	0	0	0	19	94	4.95	4.73
⑭	16	3	0	0	0	19	92	4.84	4.70
⑮	15	2	2	0	0	19	89	4.68	4.68
⑯	10	6	2	1	0	19	82	4.32	4.37
								4.77	4.65
TOTAL								4.52	4.64

教科担当者 西林 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 ソルフェージュⅠB

回答者数 18 履修者数 23

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 1 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	1年次の基礎科目、2年次、3年次の和声学、作曲への導入を意識して、本年度よりBクラスの指導を担当した。基礎的な、リズム、視唱、聴音、ハーモニーの項目をまんべんなく指導し、書く力を付けるため、毎週、聴音を清書してTeams課題を活用し提出してもらった。全体的には大きく伸びているが、アンケートでは苦手意識が強いのか達成感が低い結果となっている。
2改善課題	ソルフェージュ力の学修をしてほしい学生が、課題を提出しないので、添削も指導も出来ない状態。オフィスアワーを利用しても対面での個別指導には限度があるので、いかに伸ばすか考察中。自由記述にあるように、キーボードの練習が、充実するように配慮する。
3改善計画	視唱は課題を練習して音源、動画で毎週提出する。 聴音は授業の課題の確認に加え、スモールステップの課題を準備する。 キーボードを使用時のヘッドホン(イヤホン、変換器)を確認する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	11	2	4	1	0	18	—	4.28	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	0	9	5	3	18	—	2.50	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	16	0	0	0	2	18	82	4.56	4.54
③	16	0	0	0	2	18	82	4.56	4.79
⑤	13	3	1	0	1	18	81	4.50	4.53
⑥	13	4	1	0	0	18	84	4.67	4.65
⑦	11	4	3	0	0	18	80	4.44	4.54
								4.55	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	16	1	1	0	0	18	87	4.83	4.61
⑨	13	4	1	0	0	18	84	4.67	4.59
⑩	11	5	2	0	0	18	81	4.50	4.63
⑪	17	1	0	0	0	18	89	4.94	4.82
⑫	16	2	0	0	0	18	88	4.89	4.75
⑬	17	1	0	0	0	18	89	4.94	4.73
⑭	13	5	0	0	0	18	85	4.72	4.70
⑮	14	2	2	0	0	18	84	4.67	4.68
⑯	8	6	3	1	0	18	75	4.17	4.37
								4.70	4.65
TOTAL								4.49	4.64

教科担当者 西林 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 和声学ⅠA(キーボード・ハーモニー含む)

回答者数 9 履修者数 11

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	ほとんどの履修者は、授業態度が良く、課題の取り組みも大変良い。Teamsを活用し、事前事後学習で、課題にも取り組めた。提出された課題は添削指導を行うため、授業外での時間がかかりかかる。昨年のソルフェージュAとの関連で、キーボードハーモニー、伴奏付けもスムーズに行えた。
2改善課題	アンケートの結果、既に留学先で和声を習ったことがある学生が、欠席が多く課題も解かない状態。自身でも興味がなかったのがわかったが、クラスや指導内容に不満を持っていないようなので良かったと思う。このような特別な学生がいても、全体の雰囲気が悪くならないように運営をしていきたい。
3改善計画	課題演習(Teams)での個別指導、キーボード等の個別指導を多く行う。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	7	0	2	0	0	9	—	4.56	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	2	3	2	1	9	—	3.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	8	0	0	0	1	9	41	4.56	4.54
③	9	0	0	0	0	9	45	5.00	4.79
⑤	7	1	0	0	1	9	40	4.44	4.53
⑥	7	1	0	0	1	9	40	4.44	4.65
⑦	8	1	0	0	0	9	44	4.89	4.54
								4.67	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	9	0	0	0	0	9	45	5.00	4.61
⑨	8	0	1	0	0	9	43	4.78	4.59
⑩	8	1	0	0	0	9	44	4.89	4.63
⑪	9	0	0	0	0	9	45	5.00	4.82
⑫	9	0	0	0	0	9	45	5.00	4.75
⑬	8	1	0	0	0	9	44	4.89	4.73
⑭	8	1	0	0	0	9	44	4.89	4.70
⑮	7	1	1	0	0	9	42	4.67	4.68
⑯	7	1	1	0	0	9	42	4.67	4.37
								4.87	4.65
TOTAL								4.67	4.64

教科担当者 西林 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 和声学 I B(キーボード・ハーモニー含む)

回答者数 23 履修者数 32

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	履修者が多くクラス授業としてまとめることが大変であった。授業態度は良く、課題の取り組みも大変良い。Teamsを活用し、事前事後学習で、課題にも取り組めた。提出された課題は添削指導を行うため、授業外での時間がかかりかかる。1限に行うため、遅刻が目立ったことがアンケートでも反映されている。全体の事前・事後学修の合計時間平均より、本授業に対する学習時間が多く、履修者がまじめに取り組んでいることが分かった。
2改善課題	実践的なコードを活用した和声連結と、主要3和音のカデンツ・伴奏付けを中心に学習しているが、それでも鍵盤力が追いつかず、授業内容の達成感が低いのが問題だと感じる。
3改善計画	本年度から、入学前の基本的な音楽の基礎力を補うことができるよう、ソルフェージュ I Bも担当し、キーボード・ハーモニーのカデンツを導入、弾き歌いを行い、スモールステップで習熟するように工夫する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	7	8	5	3	0	23	—	3.83	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	4	7	9	3	0	23	—	3.52	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	18	0	0	0	5	23	95	4.13	4.54
③	22	0	0	0	1	23	111	4.83	4.79
⑤	16	4	3	0	0	23	105	4.57	4.53
⑥	15	6	2	0	0	23	105	4.57	4.65
⑦	15	4	4	0	0	23	103	4.48	4.54
								4.52	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	5	1	0	0	23	108	4.70	4.61
⑨	16	6	1	0	0	23	107	4.65	4.59
⑩	15	6	2	0	0	23	105	4.57	4.63
⑪	18	4	1	0	0	23	109	4.74	4.82
⑫	18	4	1	0	0	23	109	4.74	4.75
⑬	19	3	1	0	0	23	110	4.78	4.73
⑭	19	3	1	0	0	23	110	4.78	4.70
⑮	16	4	2	0	1	23	103	4.48	4.68
⑯	10	10	3	0	0	23	99	4.30	4.37
								4.64	4.65
TOTAL								4.48	4.64

教科担当者 西林 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 和声学Ⅲ(キーボード・ハーモニー含む)

回答者数 9 履修者数 14

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	シラバスは履修者は前年の和声学Ⅰ・ⅡAを学修し臨むものを作成していたが、本年度前期は、明らかに単位数取得目的の履修者、3年次編入者、作曲コース学生、聴講など、様々な学生が履修していてシラバスそのものを調整しながら授業を行うことになった。和声Ⅲを履修したいと思う姿勢は尊重したいものの、毎週の授業内容が定着しない学生、遅刻、欠席の多い学生も多く、真面目に取り組む学生に申し訳ない授業であったと思う。数名の学生が欠席5回ギリギリまで交代で休むので、指導意欲が下がってしまった。
2改善課題	選択科目なので、興味のある学生には、多く履修してほしいと思うが、現在の学生の状況を考えると次年度は閉講も視野に入れるべきだと考える。聴講は履修に責任がないため、出席回数、課題の提出が結局おろそかになるため、全体の雰囲気壊すので今後受け入れないことにしようと思う。
3改善計画	和声ⅡA.Bの最後にシラバスを事前に周知したうえで履修するように呼び掛ける。 内容の改善は、課題を出来るようにすることより、授業に出席したことで得ることが多くなる(知識)内容を多く準備し、履修したことでの達成感を得られるように工夫する。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	4	2	1	1	9	—	3.33	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	3	4	1	9	—	2.44	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	6	0	0	0	3	9	33	3.67	4.54
③	8	0	0	0	1	9	41	4.56	4.79
⑤	5	2	2	0	0	9	39	4.33	4.53
⑥	5	2	1	1	0	9	38	4.22	4.65
⑦	3	2	2	1	1	9	32	3.56	4.54
								4.07	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	7	1	1	0	0	9	42	4.67	4.61
⑨	6	2	1	0	0	9	41	4.56	4.59
⑩	6	2	1	0	0	9	41	4.56	4.63
⑪	6	3	0	0	0	9	42	4.67	4.82
⑫	6	3	0	0	0	9	42	4.67	4.75
⑬	7	0	2	0	0	9	41	4.56	4.73
⑭	7	2	0	0	0	9	43	4.78	4.70
⑮	6	1	2	0	0	9	40	4.44	4.68
⑯	3	2	1	2	1	9	31	3.44	4.37
								4.48	4.65
TOTAL								4.15	4.64

教科担当者 西林 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 ソルフェージュⅢB

回答者数 20 履修者数 26

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	1年次の音楽理論Ⅰ・ⅡB、本年の和声学ⅠBと合わせて本年度より担当している。授業間の共有内容も多いため、基礎科目についてより総合的に指導できている。 1限に授業があるため、遅刻が多かった。 書く力を付けるため、毎週、聴音を清書してTeams課題を活用し提出してもらった。 アンケートでは達成感が低いのに対し、意欲をもって取り組めたとの結果がよいと感じている。
2改善課題	さらに力を付ける、より出来るようになる工夫をする。自由に良い音楽が表現できる力をつける。
3改善計画	授業の内容がクラスの平均程度で進むため、よりスモールステップの課題や応用問題等を準備したい。 苦手意識の強い学生が多いのでストレスを感じさせないように授業を進めていく。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	5	6	6	3	0	20	—	3.65	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	13	5	1	20	—	2.70	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	15	0	0	0	5	20	80	4.00	4.54
③	18	0	0	0	2	20	92	4.60	4.79
⑤	13	4	3	0	0	20	90	4.50	4.53
⑥	16	3	1	0	0	20	95	4.75	4.65
⑦	12	4	4	0	0	20	88	4.40	4.54
								4.45	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	15	4	1	0	0	20	94	4.70	4.61
⑨	14	4	2	0	0	20	92	4.60	4.59
⑩	15	4	1	0	0	20	94	4.70	4.63
⑪	18	1	1	0	0	20	97	4.85	4.82
⑫	14	4	2	0	0	20	92	4.60	4.75
⑬	15	3	2	0	0	20	93	4.65	4.73
⑭	18	1	1	0	0	20	97	4.85	4.70
⑮	17	1	2	0	0	20	95	4.75	4.68
⑯	7	8	4	1	0	20	81	4.05	4.37
								4.64	4.65
TOTAL								4.40	4.64

教科担当者 西林 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 対位法

回答者数 12 履修者数 15

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	本年度初めての担当で、教材の良さを生かした授業を行うよう工夫した。履修者は昨年度の和声Ⅲ・Ⅳの履修者、音楽制作学生、4年次の前期は教育実習もあり、公欠者も多かったが、良い雰囲気で行えた。アカデミックな対位法も導入したが、オブリガート、カウンターライン制作、多声部(アンサンブル)の編曲など実践を多く試みた。必修者は1名(作曲)、ほかの学生も、習熟度は達成できなくても、興味を持てたというアンケートの結果をうれしく思う。
2改善課題	授業でパワーポイントで、映像、音源を使ったが、教室のテレビのスピーカーを使ったので、音量があまり出せなかったこと。PCとテレビモニターを接続する作業が毎時大変だった。
3改善計画	機材に関しては、早めに準備するようにする。 テレビのモニターではなく、プロジェクター、スクリーンを準備するようにする。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	5	0	6	1	0	12	—	3.75	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	6	5	0	12	—	2.67	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	9	0	0	0	3	12	48	4.00	4.54
③	12	0	0	0	0	12	60	5.00	4.79
⑤	9	3	0	0	0	12	57	4.75	4.53
⑥	9	3	0	0	0	12	57	4.75	4.65
⑦	9	3	0	0	0	12	57	4.75	4.54
								4.65	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	10	2	0	0	0	12	58	4.83	4.61
⑨	10	2	0	0	0	12	58	4.83	4.59
⑩	10	2	0	0	0	12	58	4.83	4.63
⑪	11	1	0	0	0	12	59	4.92	4.82
⑫	11	1	0	0	0	12	59	4.92	4.75
⑬	11	1	0	0	0	12	59	4.92	4.73
⑭	8	3	1	0	0	12	55	4.58	4.70
⑮	10	2	0	0	0	12	58	4.83	4.68
⑯	6	3	2	1	0	12	50	4.17	4.37
								4.76	4.65
TOTAL								4.53	4.64

教科担当者 柏尾 剛徳

開講期 R4年度 前期

授業科目 音楽理論 I A

回答者数 7 履修者数 8

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	授業のICT化を促進するため、実験的にPC等を使用し、視覚的にも興味を持たせるよう努力してみたが、思ったほどの効果は上がらなかった気がした。今後さらなる工夫が必要だと感じた。
2改善課題	少人数なだけに理解度を確認することが容易な気がするが、実際は難しかったので、どのように理解度を確認するかが課題となった。
3改善計画	ICTもただ使えば良いというものではなく、事前準備に工夫が必要だということ、全員が理解できているかどうかのこまめな確認、そのためには小テスト等により、理解度や到達度を把握する必要があるとの、それらを研究し、実践していく。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	3	4	0	0	0	7	—	4.43	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	5	1	0	7	—	3.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	5	0	0	0	2	7	27	3.86	4.54
③	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.79
⑤	6	0	1	0	0	7	33	4.71	4.53
⑥	5	1	1	0	0	7	32	4.57	4.65
⑦	4	2	1	0	0	7	31	4.43	4.54
								4.51	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	5	2	0	0	0	7	33	4.71	4.61
⑨	5	1	1	0	0	7	32	4.57	4.59
⑩	4	2	1	0	0	7	31	4.43	4.63
⑪	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.82
⑫	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.75
⑬	5	1	1	0	0	7	32	4.57	4.73
⑭	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.70
⑮	6	1	0	0	0	7	34	4.86	4.68
⑯	1	5	1	0	0	7	28	4.00	4.37
								4.64	4.65
TOTAL								4.48	4.64

教科担当者 榎山 範夫

開講期 R4年度 前期

授業科目 豊かな言葉 I

回答者数 31 履修者数 38

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 音楽・こども

【改善計画】

1自己評価	言葉への関心を高めること、言語感覚を養うことを重視した授業になるように努めた。その際、対話や議論の場と時間が不足したためか、自分たちが普段使っている言葉を見つめさせることが十分にできなかった。
2改善課題	自分たちの言葉をしっかり見つめさせること、学修したことを確かに定着させること、言葉への関心を高めることを目指す。
3改善計画	対話や議論の場と時間を確保するとともに、自分の学修や言語生活を振り返り、考えたことや分かったことを書いてまとめる活動を大切にする。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	10	8	10	3	0	31	—	3.81	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	0	9	9	12	31	—	2.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	26	0	0	0	5	31	135	4.35	4.54
③	30	0	0	0	1	31	151	4.87	4.79
⑤	19	9	3	0	0	31	140	4.52	4.53
⑥	18	9	2	1	1	31	135	4.35	4.65
⑦	19	9	3	0	0	31	140	4.52	4.54
								4.52	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	19	9	3	0	0	31	140	4.52	4.61
⑨	17	11	2	1	0	31	137	4.42	4.59
⑩	20	7	4	0	0	31	140	4.52	4.63
⑪	23	7	1	0	0	31	146	4.71	4.82
⑫	23	7	1	0	0	31	146	4.71	4.75
⑬	21	7	3	0	0	31	142	4.58	4.73
⑭	20	7	3	1	0	31	139	4.48	4.70
⑮	19	7	4	0	1	31	136	4.39	4.68
⑯	10	11	8	1	1	31	121	3.90	4.37
								4.47	4.65
TOTAL								4.29	4.64

教科担当者 榎山 範夫

開講期 R4年度 前期

授業科目 教育課程総論

回答者数 13 履修者数 15

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	教育課程の編成について、SDGsを盛り込んだ総合的な学習の時間のカリキュラムを自分たちで作る活動を通して、学習指導要領とカリキュラムの関係、今日的な社会課題と生徒との関わり、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す教育課程について、実践的に学ぶことを意図した活動を行い、意欲的な学習の姿が見られた。
2改善課題	グループでの活動を多く取り入れ、学生に任せる部分が多かった。その中で、より深く学べるようにし、一人一人の力を伸ばせるようにするために、課題を提示したり、相談にのったり、アドバイスをしたりする関わり方が必要がある。
3改善計画	学生の主体的・協働的な活動を大切にしつつ、グループでの活動をしっかり見取り、学修をさらに深める支援をしていく。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	6	6	1	0	0	13	—	4.38	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	1	2	6	3	13	—	2.31	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	12	0	0	0	1	13	61	4.69	4.54
③	12	0	0	0	1	13	61	4.69	4.79
⑤	6	4	3	0	0	13	55	4.23	4.53
⑥	10	3	0	0	0	13	62	4.77	4.65
⑦	7	4	2	0	0	13	57	4.38	4.54
								4.55	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	7	4	2	0	0	13	57	4.38	4.61
⑨	8	2	3	0	0	13	57	4.38	4.59
⑩	10	3	0	0	0	13	62	4.77	4.63
⑪	11	2	0	0	0	13	63	4.85	4.82
⑫	11	2	0	0	0	13	63	4.85	4.75
⑬	10	3	0	0	0	13	62	4.77	4.73
⑭	11	2	0	0	0	13	63	4.85	4.70
⑮	8	3	2	0	0	13	58	4.46	4.68
⑯	3	9	1	0	0	13	54	4.15	4.37
								4.61	4.65
TOTAL								4.43	4.64

教科担当者 榎山 範夫

開講期 R4年度 前期

授業科目 教育方法・技術

回答者数 24 履修者数 27

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	授業の構想、指導技術、ICT活用等については、道德の授業づくりに取り組む過程で学んでいくという方法で行った。指導案を作成する過程では、グループでの活動を授業時間内に確保したが、事前学修・事後学修を関連付けて活用することが十分ではなかった。
2改善課題	指導方法や技術、ICT活用等について理解するということにとどまりがちで、習得するところまではできていない。活動を精査し、少しでも身につくような場と時間を確保する必要がある。
3改善計画	事前学修・事後学修の時間に何をするのか、授業時間には何をするのかという、それぞれの役割や内容、時間配分、関連を明確にして、学生が限られた時間を効率的に使いながら、学修を進めていけるようにする。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	16	4	4	0	0	24	—	4.50	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	0	13	6	3	24	—	2.67	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	23	0	0	0	1	24	116	4.83	4.54
③	23	0	0	0	1	24	116	4.83	4.79
⑤	14	7	2	0	1	24	105	4.38	4.53
⑥	15	6	2	0	1	24	106	4.42	4.65
⑦	15	4	4	1	0	24	105	4.38	4.54
								4.57	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	16	4	4	0	0	24	108	4.50	4.61
⑨	15	5	3	0	1	24	105	4.38	4.59
⑩	15	6	2	1	0	24	107	4.46	4.63
⑪	18	4	2	0	0	24	112	4.67	4.82
⑫	17	6	1	0	0	24	112	4.67	4.75
⑬	14	7	3	0	0	24	107	4.46	4.73
⑭	16	5	3	0	0	24	109	4.54	4.70
⑮	15	7	1	0	1	24	107	4.46	4.68
⑯	10	6	7	1	0	24	97	4.04	4.37
								4.46	4.65
TOTAL								4.39	4.64

教科担当者 榎山 範夫

開講期 R4年度 前期

授業科目 生徒指導の理論と方法

回答者数 25 履修者数 25

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	生徒指導に関する基本的な知識について、なるべく学校現場における具体的な事例とつながらながら理解していけるように努めるとともに、校則や体罰についても、一人一人が、自分はどう考えるのかということを踏まえ議論させるようにした。少人数のグループでの話し合いの場を設定できず、発言が一部の学生にとどまる傾向があった。
2改善課題	生徒指導の問題を一人一人が自分の問題として考えるような学修に十分になり得ていない。学生によって、現に報道されている生徒指導の問題についての関心に差がある。
3改善計画	報道される生徒指導に関する事例を適宜取り上げ、生徒指導上の諸課題に対する関心を高めるとともに、じっくり考えて議論する場と時間の確保、自分たちで調べたことを発表し合う場の設定、考えたことや分かったことを書いてまとめる活動を、これまで以上に重視する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	14	8	3	0	0	25	—	4.44	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	0	12	6	5	25	—	2.52	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	23	0	0	0	2	25	117	4.68	4.54
③	23	0	0	0	2	25	117	4.68	4.79
⑤	16	5	4	0	0	25	112	4.48	4.53
⑥	17	4	3	0	1	25	111	4.44	4.65
⑦	15	5	4	1	0	25	109	4.36	4.54
								4.53	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	16	7	2	0	0	25	114	4.56	4.61
⑨	18	4	2	0	1	25	113	4.52	4.59
⑩	17	5	3	0	0	25	114	4.56	4.63
⑪	19	4	2	0	0	25	117	4.68	4.82
⑫	19	5	1	0	0	25	118	4.72	4.75
⑬	17	5	3	0	0	25	114	4.56	4.73
⑭	17	5	2	1	0	25	113	4.52	4.70
⑮	16	7	1	0	1	25	112	4.48	4.68
⑯	12	8	4	1	0	25	106	4.24	4.37
								4.54	4.65
TOTAL								4.40	4.64

教科担当者 藤田 泉

開講期 R4年度 前期

授業科目 教育学Ⅰ

回答者数 4 履修者数 4

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	誕生から主に学童期までの教育に関するいくつかのテーマについての事前・事後学修をほとんど提出しない人もあり、少人数だが授業への取り組み方に大きな差が見られた。授業態度はごく少数の例外を除きまじめだった。
2改善課題	事前・事後学修を提出せず授業中の居眠りが目立つ学生もあり、クラス全体として良い成績につながったとは言えない。各テーマへの興味を引き出す事前・事後学修の改善と、学生の集中度を高める授業展開の工夫が必要である。
3改善計画	事前・事後学修及び授業展開の改善と同時に、事前・事後学修に取り組まない学生に関しては早い段階で原因究明を行い授業態度改善の必要性を理解させ実行できるように働きかけることが必要と思われる。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	2	0	1	0	4	—	3.75	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	2	1	0	4	—	3.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	1	4	16	4.00	4.54
③	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.79
⑤	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.53
⑥	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.65
⑦	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.54
								4.55	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.61
⑨	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.59
⑩	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.63
⑪	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.82
⑫	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.75
⑬	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.73
⑭	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.70
⑮	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.68
⑯	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.37
								4.75	4.65
TOTAL								4.52	4.64

教科担当者 藤田 泉

開講期 R4年度 前期

授業科目 教育学Ⅱ

回答者数 3 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 2 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	思春期以降の教育に関するいくつかのテーマについての事前・事後学修の提出状況に差があり、少人数で発言も多く授業の雰囲気は悪くなかったにもかかわらず、クラス全体として良い成績につながったとはいえない。
2改善課題	事前・事後学修の努力が授業での達成感(内容の理解)に直結するような、事前・事後学修の内容と授業展開の工夫の改善が必要である。また、授業内容以外に、事前・事後学修の提出状況にどのような要因があったかの解明が急務である。
3改善計画	事前・事後学修の内容、授業展開の工夫、理解が来ているか確認すること以外に、事前・事後学修を提出しない学生の原因を究明し改善につなげたい。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	0	2	0	0	3	—	3.67	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	3	0	0	3	—	3.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.54
③	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.79
⑤	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.53
⑥	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.65
⑦	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.54
								4.80	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.61
⑨	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.59
⑩	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.63
⑪	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.82
⑫	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.75
⑬	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.73
⑭	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.70
⑮	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.68
⑯	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.37
								4.71	4.65
TOTAL								4.57	4.64

教科担当者 藤田 泉

開講期 R4年度 前期

授業科目 教育原理

回答者数 24 履修者数 24

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 2 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	学生の自分自身への評価は平均4.56、教員への評価は平均4.30と悪くないにもかかわらず、事前・事後学修提出状況と筆記試験成績にかなりの差があり、結果として合格点を出せなかった人がいたことは非常に残念である。
2改善課題	授業曜日・時間を変更したらクレームが多く出て元に戻した経緯から、学科2年生全員が登校しない曜日があることがわかった。履修科目数制限による各科目事前・事後学修時間確保というCAP制本来の趣旨とは別の目的に、不登校曜日が使われている可能性が高い。原因究明が急務である。
3改善計画	事前・事後学修の内容、授業展開の工夫、授業内容の理解度について確認する作業以外に、事前・事後学修課題を提出しない学生の原因を究明し改善につなげたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしましたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	16	5	3	0	0	24	—	4.54	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	3	9	9	2	24	—	2.67	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	23	0	0	0	1	24	116	4.83	4.54
③	24	0	0	0	0	24	120	5.00	4.79
⑤	13	7	4	0	0	24	105	4.38	4.53
⑥	11	10	2	0	1	24	102	4.25	4.65
⑦	11	10	3	0	0	24	104	4.33	4.54
								4.56	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	13	8	3	0	0	24	106	4.42	4.61
⑨	11	8	4	1	0	24	101	4.21	4.59
⑩	12	10	2	0	0	24	106	4.42	4.63
⑪	12	10	2	0	0	24	106	4.42	4.82
⑫	12	10	2	0	0	24	106	4.42	4.75
⑬	12	9	3	0	0	24	105	4.38	4.73
⑭	12	9	1	1	1	24	102	4.25	4.70
⑮	12	8	3	0	1	24	102	4.25	4.68
⑯	7	10	7	0	0	24	96	4.00	4.37
								4.31	4.65
TOTAL								4.30	4.64

教科担当者 藤田 泉

開講期 R4年度 前期

授業科目 保育原理

回答者数 24 履修者数 25

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 1 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	学生自身の自分自身への評価は4.63、教員への評価は4.45と悪くなかったにもかかわらず、事前・事後学修提出状況と筆記試験成績にかなり差があり、結果として合格点を出せなかった人がいたことは非常に残念である。
2改善課題	学科1年生全員が登校しない曜日があることがわかった。履修科目数制限による各科目の事前・事後学修確保というCAP制本来の趣旨とは別の目的に、不登校曜日が使われている可能性が高い。原因究明が急務である。
3改善計画	事前・事後学修の内容、授業展開の工夫、授業内容の理解度について以外に、事前・事後学修課題を提出しない学生の原因を究明し改善につなげたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	14	4	6	0	0	24	—	4.33	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	2	10	9	2	24	—	2.63	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	23	0	0	0	1	24	116	4.83	4.54
③	24	0	0	0	0	24	120	5.00	4.79
⑤	11	9	4	0	0	24	103	4.29	4.53
⑥	13	9	2	0	0	24	107	4.46	4.65
⑦	15	8	1	0	0	24	110	4.58	4.54
								4.63	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	17	4	3	0	0	24	110	4.58	4.61
⑨	17	3	4	0	0	24	109	4.54	4.59
⑩	20	3	1	0	0	24	115	4.79	4.63
⑪	19	4	1	0	0	24	114	4.75	4.82
⑫	18	3	3	0	0	24	111	4.63	4.75
⑬	16	5	3	0	0	24	109	4.54	4.73
⑭	15	7	2	0	0	24	109	4.54	4.70
⑮	16	7	1	0	0	24	111	4.63	4.68
⑯	7	10	7	0	0	24	96	4.00	4.37
								4.56	4.65
TOTAL								4.45	4.64

教科担当者 脇山 純

開講期 R4年度 前期

授業科目 アートマネジメントⅢ

回答者数 3 履修者数 7

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	今まで見たことのないグラフの形になっている。指導側の意図が伝わっていないように思える。年度ごとに学生の反応が違うが、今年度の学生は出席も悪く反応も悪くやりにくかった。
2改善課題	学生と指導者側の温度差がありすぎるようだ。
3改善計画	学生の反応をよく見ながら、やり方を変えるしかない。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	0	0	2	1	0	3	—	2.67	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	0	1	2	3	—	1.33	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	2	3	7	2.33	4.54
③	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.79
⑤	0	1	1	0	1	3	8	2.67	4.53
⑥	0	1	1	1	0	3	9	3.00	4.65
⑦	0	2	1	0	0	3	11	3.67	4.54
								3.33	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	0	2	1	0	3	8	2.67	4.61
⑨	0	0	2	0	1	3	7	2.33	4.59
⑩	1	0	1	1	0	3	10	3.33	4.63
⑪	0	2	1	0	0	3	11	3.67	4.82
⑫	1	1	1	0	0	3	12	4.00	4.75
⑬	0	0	1	2	0	3	7	2.33	4.73
⑭	0	1	2	0	0	3	10	3.33	4.70
⑮	0	3	0	0	0	3	12	4.00	4.68
⑯	0	2	0	1	0	3	10	3.33	4.37
								3.22	4.65
TOTAL								3.10	4.64

教科担当者 脇山 純、西田 和政

開講期 R4年度 前期

授業科目 サウンドデザイン I

回答者数 2 履修者数 2

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 1 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	個人個人の演習なのではっきりこちらが主導権をもてない。 持って来たそれぞれの学生の課題のでき次第で指導も異なる。 音響に関しては学内で実際にスタッフとして動くので、スキルが身についていると思う。
2改善課題	作っては削除、作っては削除して積み重ねが効かない学生がいる。
3改善計画	毎回毎回の授業で次までに解決してきてほしい課題を出して、積み重ねるしかない。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	2	—	5.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	2	0	0	2	—	3.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
③	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.79
⑤	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.53
⑥	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
⑦	0	2	0	0	0	2	8	4.00	4.54
								4.80	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	0	2	0	0	0	2	8	4.00	4.61
⑨	0	2	0	0	0	2	8	4.00	4.59
⑩	0	2	0	0	0	2	8	4.00	4.63
⑪	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.82
⑫	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑬	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.73
⑭	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.70
⑮	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.68
⑯	0	2	0	0	0	2	8	4.00	4.37
								4.56	4.65
TOTAL								4.56	4.64

教科担当者 脇山 純、矢賀部 竜成

開講期 R4年度 前期

授業科目 サウンドデザインⅢ

回答者数 4 履修者数 4

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	少しくらいの遅刻はいいのではないかとと思っている学生がいる。主科なのでよほどの事情ではない限り欠席しないように指導しないといけない。
2改善課題	制作に関しては妥協せず頑張っているが、計画的に時間を逆算して作ってほしい。
3改善計画	期限を区切り製作段階をチェックしながら指導して行きたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	0	0	1	3	0	4	—	2.25	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	2	0	0	0	4	—	4.50	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	2	4	12	3.00	4.54
③	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.79
⑤	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.53
⑥	1	3	0	0	0	4	17	4.25	4.65
⑦	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.54
								4.25	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.61
⑨	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.59
⑩	2	1	1	0	0	4	17	4.25	4.63
⑪	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.82
⑫	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.75
⑬	1	2	1	0	0	4	16	4.00	4.73
⑭	3	1	0	0	0	4	19	4.75	4.70
⑮	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.68
⑯	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.37
								4.44	4.65
TOTAL								4.25	4.64

教科担当者 脇山 純、矢賀部 竜成

開講期 R4年度 前期

授業科目 サウンドデザイン V

回答者数 2 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	グラフに表示されるように、確かに欠席、遅刻は多かった。1年の時は学内を回って大学には来ているが出席していない学生を連れ戻していた。3年になっても欠席するのは、自己責任だと思う。
2改善課題	手取り、足取りの指導はしなくてもよくなってきたが、自発的に作品を制作しようという強い気持ちを起こさせたい。
3改善計画	出席を促し、少しずつでもほめて毎回毎回の成果を形にするようにしたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	0	0	2	0	0	2	—	3.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	0	0	0	0	2	—	5.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	0	0	0	0	2	2	2	1.00	4.54
③	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.79
⑤	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.53
⑥	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.65
⑦	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.54
								4.00	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.61
⑨	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.59
⑩	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.63
⑪	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.82
⑫	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑬	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.73
⑭	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.70
⑮	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.68
⑯	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.37
								4.83	4.65
TOTAL								4.47	4.64

教科担当者 脇山 純、矢賀部 竜成

開講期 R4年度 前期

授業科目 サウンドデザインⅦ

回答者数 5 履修者数 5

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	4年生にもなると個性が出て、指導が楽しい。学生の成長を助けることができていると思う。
2改善課題	まだまだ先の作業があるのに、ある程度できた時点で満足する学生がいる。その先の音楽を追求する姿勢を指導したい。
3改善計画	早い時期から試験まで、コンサートまでの時間の逆算を緻密にさせる。どのような形態でも作品を発表できるが、機材などの準備などを考慮して試験に臨ませたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	1	1	1	1	5	—	3.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	4	0	1	0	0	5	—	4.60	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	3	5	13	2.60	4.54
③	5	0	0	0	0	5	25	5.00	4.79
⑤	4	1	0	0	0	5	24	4.80	4.53
⑥	4	1	0	0	0	5	24	4.80	4.65
⑦	4	1	0	0	0	5	24	4.80	4.54
								4.40	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	0	0	0	1	5	21	4.20	4.61
⑨	4	0	1	0	0	5	23	4.60	4.59
⑩	3	0	0	0	2	5	17	3.40	4.63
⑪	3	0	1	0	1	5	19	3.80	4.82
⑫	3	0	1	0	1	5	19	3.80	4.75
⑬	2	1	1	1	0	5	19	3.80	4.73
⑭	4	0	0	1	0	5	22	4.40	4.70
⑮	4	0	0	1	0	5	22	4.40	4.68
⑯	2	1	1	0	1	5	18	3.60	4.37
								4.00	4.65
TOTAL								4.10	4.64

教科担当者 松岡 和男

開講期 R4年度 前期

授業科目 生活科論

回答者数 17 履修者数 18

単位数 2 単位

授業形態 演習

開設学年 3 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	○事前・事後の学修の必要性をきちんと説明した。 ○シラバスを授業前に提示し、どこまで進んでいるのか確認するようにした。 ○毎時間、「振り返りワーク」を提出させた。 ○製作など実際の体験を通して考えることと理論で裏付けることを大切に扱ったつもりである。
2改善課題	○集中力がどうしても途中で切れてしまう。 ○本時で何が身についたのかを確認させる時間が確保できなかった。
3改善計画	○本時で身についたことの確認を言語化するなど交流の場を持つと他の意見も参考にしながら自分の学びも確認できるのではないかと考える。 ○プロジェクターが暗く、見にくい状態であったので、提示の工夫をしたい。 ○学生の意見を吸い上げるのにマイクロソフトチームズを活用したが、さらなる活用方法を模索する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	9	4	3	1	0	17	—	4.24	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	4	10	2	0	17	—	3.24	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	15	0	0	0	2	17	77	4.53	4.54
③	17	0	0	0	0	17	85	5.00	4.79
⑤	11	6	0	0	0	17	79	4.65	4.53
⑥	11	4	2	0	0	17	77	4.53	4.65
⑦	11	6	0	0	0	17	79	4.65	4.54
								4.67	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.61
⑨	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.59
⑩	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.63
⑪	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.82
⑫	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.75
⑬	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.73
⑭	11	6	0	0	0	17	79	4.65	4.70
⑮	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.68
⑯	8	9	0	0	0	17	76	4.47	4.37
								4.73	4.65
TOTAL								4.59	4.64

教科担当者 松岡 和男

開講期 R4年度 前期

授業科目 保育の計画と評価

回答者数 17 履修者数 17

単位数 2 単位

授業形態 講義

開設学年 3 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	○事前・事後の学修の必要性をきちんと説明した。 ○シラバスを授業前に提示し、どこまで進んでいるのか確認するようにした。 ○毎時間、「振り返りワーク」を提出させた。調べたり、教科書を確認したりしなければ書けないものも多くあったがそれが事前・事後の学習に影響するとの考えで毎時間提出を確認した。
2改善課題	○欠席が気になる場所である。 ○本時で何が身についたのかを確認させる時間が確保できなかった。
3改善計画	○面白い内容も多くあったが、それをうまく展開することができなかった。楽しみながら、しかししっかりと学べる内容や指導法を考えていきたい。 ○内容が多い日は、つい考えさせる時間を削ることもあった。しかし、共に意見を交換しながら考えさせる時間がとても大切であることから時間の配分を検討したい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	8	5	4	0	0	17	—	4.24	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	4	10	2	0	17	—	3.24	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	13	0	0	0	4	17	69	4.06	4.54
③	16	0	0	0	1	17	81	4.76	4.79
⑤	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.53
⑥	12	5	0	0	0	17	80	4.71	4.65
⑦	12	5	0	0	0	17	80	4.71	4.54
								4.60	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.61
⑨	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.59
⑩	13	4	0	0	0	17	81	4.76	4.63
⑪	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.82
⑫	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.75
⑬	14	3	0	0	0	17	82	4.82	4.73
⑭	12	5	0	0	0	17	80	4.71	4.70
⑮	12	5	0	0	0	17	80	4.71	4.68
⑯	7	10	0	0	0	17	75	4.41	4.37
								4.74	4.65

TOTAL								4.57	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

2 実技系科目

ページ	授業科目	担当教員
75	ピアノⅤ、Ⅶ	木村 博子
76	器楽実技研究Ⅰ、Ⅲ、Ⅶ(管弦打楽)	馬込 勇
77	声楽実技研究Ⅰ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ	桑原 理恵
78	声楽Ⅰ、Ⅲ、Ⅴ	桑原 理恵
79	器楽実技研究Ⅰ、Ⅲ、Ⅶ(ピアノ)	松崎 伶子
80	ピアノⅢ	松崎 伶子
81	器楽実技研究Ⅰ、Ⅲ、Ⅶ(ピアノ)	川口 みさき
82	ピアノⅠ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ	川口 みさき
83	ピアノ実技Ⅰ	川口 みさき
84	器楽実技研究Ⅲ、Ⅴ(ピアノ)	眞鍋 協子
85	ピアノⅠ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ	眞鍋 協子
86	声楽Ⅰ	村橋 和子
87	ピアノⅢ、Ⅴ	田中 幸子
88	ピアノⅠ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ	田中 幸子
89	体育実技Ⅰ	石岡 ひろみ

教科担当者 木村 博子

開講期 R4年度 前期

授業科目 ピアノⅤ、Ⅶ

回答者数 18 履修者数 23

単位数 1 単位

授業形態 実技

開設学年 3,4 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	常にポジティブな側面に注目して、可能性を開発することを心がけたが、その作業は楽しく、毎回授業が楽しみであった。高学年次ということもあり、各自の自主性に任せた部分が大きかったが、練習量も増えて、誰もがそれなりに自己の課題と向き合って努力したと思う。むろんいつでも右肩上がりに進歩するわけではないので、足踏みに見える状況も大事にしながら見守っていききたい。
2改善課題	学生がモチベーションを高めて、より主体的に音楽に関われるようなレッスン環境を作る。
3改善計画	課題曲以外に多くの自由曲を経験させ、音楽の幅を広げる。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	13	3	2	0	0	18	—	4.61	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	3	9	6	0	0	18	—	3.83	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	15	0	0	0	3	18	78	4.33	4.54
③	18	0	0	0	0	18	90	5.00	4.79
⑤	11	5	2	0	0	18	81	4.50	4.53
⑥	12	6	0	0	0	18	84	4.67	4.65
⑦	11	7	0	0	0	18	83	4.61	4.54
								4.62	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	12	6	0	0	0	18	84	4.67	4.61
⑨	12	6	0	0	0	18	84	4.67	4.59
⑩	13	3	2	0	0	18	83	4.61	4.63
⑪	14	4	0	0	0	18	86	4.78	4.82
⑫	15	3	0	0	0	18	87	4.83	4.75
⑬	15	3	0	0	0	18	87	4.83	4.73
⑭	14	4	0	0	0	18	86	4.78	4.70
⑮	15	3	0	0	0	18	87	4.83	4.68
⑯	9	8	1	0	0	18	80	4.44	4.37
								4.72	4.65
TOTAL								4.62	4.64

教科担当者 馬込 勇

開講期 R4年度 前期

授業科目 器楽実技研究Ⅰ、Ⅲ、Ⅶ(管弦打楽)

回答者数 2 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 実技

開設学年 1,2,4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	前期はファゴットで受けられる大きなコンクールがあり、その準備で充実した前期であった。実際に全国大会でも結果が出ている。
2改善課題	相乗効果なのか、他のコンクールも多数受ける人が多く、そのほとんどが自由曲選択だった。希望の曲目もあった。その曲の指導はもちろんだが、曲に合った準備(特にリード制作指導)が改善課題。
3改善計画	学生とのコンクール受験計画を今後集中リサーチして行いたい。能力が高いので要改善と考える。

質問項目 1. この授業(講義・演習)に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	2	0	0	0	0	2	—	5.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	0	0	0	0	2	—	5.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
③	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.79
⑤	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.53
⑥	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.65
⑦	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
								5.00	4.61

質問項目 2. この授業(講義・演習)の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.61
⑨	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.59
⑩	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.63
⑪	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.82
⑫	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.75
⑬	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.73
⑭	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.70
⑮	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.68
⑯	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								5.00	4.64

教科担当者 桑原 理恵

開講期 R4年度 前期

授業科目 声楽実技研究Ⅰ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ

回答者数 7 履修者数 8

単位数 2 単位

授業形態 実技

開設学年 1,2,3,4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	レッスンに対する評価は高いが、学生自身の「到達目標を達成しましたか」の評価は全体平均より低い。これは、特に1年生に対して声楽の学びの全容、必要な知識や練習方法についての提示が不足していたことが原因であると考え。各々の楽器や経験に合わせた目標と事前事後学修のための練習方法について、さらにわかりやすく示していきたい。学生の欠席回数もやや多いので、心身の体調管理についても指導していきたい。
2改善課題	声楽の基礎力を培う
3改善計画	楽器・発声の基礎部分を理解できる資料を作成し、学生に配付する。各自の課題に応じた発声パターンやエクササイズをカスタマイズし、練習方法によってどのような結果がもたらされているかを学生と検証し、課題に有効な練習方法を探る。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	3	1	3	0	0	7	—	4.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	4	0	3	0	0	7	—	4.14	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	6	0	0	0	1	7	31	4.43	4.54
③	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.79
⑤	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.53
⑥	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.65
⑦	3	3	1	0	0	7	30	4.29	4.54
								4.74	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.61
⑨	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.59
⑩	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.63
⑪	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.82
⑫	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.75
⑬	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.73
⑭	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.70
⑮	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.68
⑯	7	0	0	0	0	7	35	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.80	4.64

教科担当者 桑原 理恵

開講期 R4年度 前期

授業科目 声楽Ⅰ、Ⅲ、Ⅴ

回答者数 4 履修者数 5

単位数 1 単位

授業形態 実技

開設学年 1,2,3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	昨年度から継続して指導を行っている学生が受講している。しかしながら前年度の結果と比較して②③⑤の結果が異なることが気になる。一人一人の課題や目標を明確にして指導をおこなったことで学生は達成感を感じているが、シラバスについての説明を細やかに行うこと、また事前事後学修での練習方法を具体的に示すことをさらに行いたい。
2改善課題	シラバスを用いた声楽学修についての細やかな説明と事前事後学修の確認
3改善計画	まず今期に学ぶ目標、課題をシラバスを用いて説明する。その上で、各自の課題と目標を定め、事前事後学修の練習方法と結びつけ、到達度を確認しながらレッスンをを行う。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	2	0	1	0	4	—	3.75	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	0	2	2	0	4	—	2.50	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	3	4	8	2.00	4.54
③	2	0	0	0	2	4	12	3.00	4.79
⑤	1	0	3	0	0	4	14	3.50	4.53
⑥	3	0	1	0	0	4	18	4.50	4.65
⑦	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.54
								3.60	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	1	0	0	4	18	4.50	4.61
⑨	3	0	1	0	0	4	18	4.50	4.59
⑩	2	0	2	0	0	4	16	4.00	4.63
⑪	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.82
⑫	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.75
⑬	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.73
⑭	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.70
⑮	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.68
⑯	2	2	0	0	0	4	18	4.50	4.37
								4.72	4.65
TOTAL								4.17	4.64

教科担当者 松崎 伶子

開講期 R4年度 前期

授業科目 器楽実技研究Ⅰ、Ⅲ、Ⅶ(ピアノ)

回答者数 3 履修者数 4

単位数 2 単位

授業形態 実技

開設学年 1,2,4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	1年生は入学して初めての試験に精一杯緊張感を持って努力していた。 2年生は前年の自動車事故で痛めた左腕をリハビリに通いながら試験に臨んだ。 4年生二名は大学生活にも慣れ各自自分の弾きたい曲を選び演奏した。
2改善課題	それぞれ学生は成長のスピードが違うが、色々な楽器の人達との会話や伴奏等を通して一緒に過ごし学ぶ事が次第に音楽の幅を広げ成長して行く様に感じた。
3改善計画	自分に自信を持って学んで行く上で技術的な事を習得する為の努力は大切だが様々な楽器の人や音楽教育の人達とも友達になり人としての視野を広げて欲しい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	3	0	0	0	0	3	—	5.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	3	0	0	0	0	3	—	5.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.54
③	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.79
⑤	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.53
⑥	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
⑦	1	1	0	1	0	3	11	3.67	4.54
								4.73	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.61
⑨	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.59
⑩	2	0	1	0	0	3	13	4.33	4.63
⑪	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.82
⑫	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑬	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.73
⑭	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.70
⑮	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.68
⑯	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.37
								4.93	4.65

TOTAL								4.88	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 松崎 伶子

開講期 R4年度 前期

授業科目 ピアノⅢ

回答者数 1 履修者数 1

単位数 1 単位

授業形態 実技

開設学年 2 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	音楽療法の学生さんだが、とても良いテクニックを持った人で難しい曲も問題なく弾けるのだがとても忙しいのか少し欠席が多い。
2改善課題	ピアノが上手なのを未来に生かして病に苦しむ方々に素晴らしい音楽を通して支えられる様になって欲しい。優秀な才能を持っている学生さんなのでもう少し内容深く教えてあげたい。
3改善計画	音楽のみならず全ての事柄に興味を持ち将来に向け自分なりの引き出しを沢山作って欲しい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	0	0	1	0	0	1	—	3.00	4.29

	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	0	0	0	1	—	4.00	2.81

	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
③	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.79
⑤	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.53
⑥	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.65
⑦	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.54
								5.00	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.61
⑨	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.59
⑩	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.63
⑪	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.82
⑫	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.75
⑬	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.73
⑭	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.70
⑮	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.68
⑯	1	0	0	0	0	1	5	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.81	4.64

教科担当者 川口 みさき

開講期 R4年度 前期

授業科目 器楽実技研究Ⅰ、Ⅲ、Ⅶ(ピアノ)

回答者数 4 履修者数 4

単位数 2 単位

授業形態 実技

開設学年 1,2,4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	学年に応じた課題にそって、どの学生も熱心に練習に励み、毎週効果を上げることができた。例年よりも学生たちが取り組む曲数が多く、レパートリー増加につながっている。このペースが保てるように指導する。
2改善課題	バロック音楽取り組み、エチュードのスキルアップを強化し、テクニックの更なる向上を目指す。
3改善計画	曲目完成までの計画を1曲1曲立てて今期の目標を達成する。テクニックや和声感など曲によって最も重要な完成ポイントを明確に定める計画をたてる。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	3	1	0	0	0	4	—	4.75	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	3	1	0	0	0	4	—	4.75	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.54
③	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.79
⑤	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.53
⑥	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.65
⑦	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.54
								5.00	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.61
⑨	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.59
⑩	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.63
⑪	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.82
⑫	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.75
⑬	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.73
⑭	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.70
⑮	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.68
⑯	4	0	0	0	0	4	20	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.97	4.64

教科担当者 川口 みさき

開講期 R4年度 前期

授業科目 ピアノⅠ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ

回答者数 15 履修者数 23

単位数 1 単位

授業形態 実技

開設学年 1,2,3,4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	ピアノの練習時間、練習日数によって大きく個人差が出てくる。時間をかければ一通り曲が弾けるようになるが、一人一人が意欲的に学習する習慣を身に着けるよう指導する。
2改善課題	技術を向上させるため、個人の力に合った楽曲を選び段階的なスキルアップを図る。ピアノの練習が負担にならず、自ら学習する意欲を引き出す。
3改善計画	1週間の練習方法について、個人に合った具体的な指示を提供する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	7	4	2	0	2	15	—	3.93	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	6	5	4	0	0	15	—	4.13	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	15	0	0	0	0	15	75	5.00	4.54
③	15	0	0	0	0	15	75	5.00	4.79
⑤	12	3	0	0	0	15	72	4.80	4.53
⑥	13	2	0	0	0	15	73	4.87	4.65
⑦	8	7	0	0	0	15	68	4.53	4.54
								4.84	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	10	5	0	0	0	15	70	4.67	4.61
⑨	12	3	0	0	0	15	72	4.80	4.59
⑩	13	2	0	0	0	15	73	4.87	4.63
⑪	11	4	0	0	0	15	71	4.73	4.82
⑫	9	6	0	0	0	15	69	4.60	4.75
⑬	9	5	1	0	0	15	68	4.53	4.73
⑭	9	3	3	0	0	15	66	4.40	4.70
⑮	10	4	1	0	0	15	69	4.60	4.68
⑯	10	5	0	0	0	15	70	4.67	4.37
								4.65	4.65
TOTAL								4.63	4.64

教科担当者 川口 みさき

開講期 R4年度 前期

授業科目 ピアノ実技 I

回答者数 3 履修者数 4

単位数 2 単位

授業形態 実技

開設学年 専攻科

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	時間をかければ一通り曲が弾けるようになるが、一人一人が意欲的に学習する習慣を身に着けるよう指導する。
2改善課題	技術を向上させるため、個人の力に合った楽曲を選び段階的なスキルアップを図る。ピアノの練習が負担にならず、自ら学習する意欲を引き出す。
3改善計画	1週間の練習方法について、個人に合った具体的な指示を示す。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	1	0	2	0	0	3	—	3.67	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	0	1	1	0	3	—	3.33	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	1	3	11	3.67	4.54
③	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.79
⑤	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.53
⑥	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
⑦	2	0	1	0	0	3	13	4.33	4.54
								4.60	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.61
⑨	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.59
⑩	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.63
⑪	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.82
⑫	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑬	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.73
⑭	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.70
⑮	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.68
⑯	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.37
								5.00	4.65
TOTAL								4.69	4.64

教科担当者 眞鍋 協子

開講期 R4年度 前期

授業科目 器楽実技研究Ⅲ、Ⅴ(ピアノ)

回答者数 3 履修者数 3

単位数 2 単位

授業形態 実技

開設学年 2,3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	学生それぞれの年間目標を常に意識させることを念頭に、ステージパフォーマンスの基礎となる技術や表現法、音楽的教養を意識した指導を行った。1、2年生の期間は基礎力の充実に特に重要な時間なので、基本となるバロックや古典作品の演奏解釈、表現法の研究にしていねいに取り組んだ。
2改善課題	学期末の定期試験曲は選択ではあるが、学生の力がまだ十分に要求されるレベルに達しているとは言えない。読譜などの基礎力の強化を図るとともに、時代別のスタイルの理解・音楽史の基礎知識の修得など欠かせない課題も多い。
3改善計画	作品の時代背景や作曲家の伝記等の書物を調べるなど、実技の練習以外にも身に付けるべき教養についても学生本人が興味を持って取り組めるよう、具体性を持った指導法を工夫する。社会性やマナー等を、学生生活を通じて獲得することを常に意識させ、重視する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	3	0	0	0	0	3	—	5.00	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	3	0	0	0	0	3	—	5.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.54
③	2	0	0	0	1	3	11	3.67	4.79
⑤	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.53
⑥	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.65
⑦	1	2	0	0	0	3	13	4.33	4.54
								4.60	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.61
⑨	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.59
⑩	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.63
⑪	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.82
⑫	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.75
⑬	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.73
⑭	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.70
⑮	3	0	0	0	0	3	15	5.00	4.68
⑯	2	1	0	0	0	3	14	4.67	4.37
								4.93	4.65

TOTAL								4.83	4.64
-------	--	--	--	--	--	--	--	------	------

教科担当者 眞鍋 協子

開講期 R4年度 前期

授業科目 ピアノⅠ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ

回答者数 23 履修者数 27

単位数 1 単位

授業形態 実技

開設学年 1,2,3,4 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	基本的にシラバスに沿った課題曲を選択し、学年ごとに設定された学修レベルを目指して個人指導を行った。学期末の定期試験前には自宅での練習時間も増え、ほぼ全員の学生が力をつけていた。限られたレッスン時間内で演奏レベルを上げることは簡単ではないが、学生たちは目標に向かって努力を続けていた。
2改善課題	定期試験を中心に動いているため、長期休暇期間など練習を重ねられるはずの期間の練習量が不足している。基礎力をつけられる時間だということを、真剣に考えて計画的に練習する姿勢が不足している。
3改善計画	希望とやる気を維持できるよう、学生に寄り添った指導計画で臨む。ソルフェージュ力や鍵盤力を上げることが演奏力アップにもつながることを意識させ、すべての科目の関連性を理解して事前事後学習に結び付けたい。目標を常に意識させることを心掛けたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	11	7	3	0	2	23	—	4.09	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	8	5	8	2	0	23	—	3.83	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	20	0	0	0	3	23	103	4.48	4.54
③	20	0	0	0	3	23	103	4.48	4.79
⑤	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.53
⑥	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.65
⑦	15	6	2	0	0	23	105	4.57	4.54
								4.71	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	20	3	0	0	0	23	112	4.87	4.61
⑨	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.59
⑩	20	2	1	0	0	23	111	4.83	4.63
⑪	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.82
⑫	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.75
⑬	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.73
⑭	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.70
⑮	23	0	0	0	0	23	115	5.00	4.68
⑯	22	1	0	0	0	23	114	4.96	4.37
								4.96	4.65
TOTAL								4.76	4.64

教科担当者 村橋 和子

開講期 R4年度 前期

授業科目 声楽 I

回答者数 20 履修者数 22

単位数 1 単位

授業形態 実技

開設学年 1 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	アンケート結果より、事前、事後学修についての理解と有益性が低かった。また、授業をわかりやすくする工夫が低かったことが明らかとなった。集団での歌唱実技なのでどこまでできているかを判断しにくいのかかもしれない。またコロナ禍での声を出す授業で、色々と制約が多かった点もあると考える。
2改善課題	各自の歌唱レベルを可視化できるようにし、各自で学びの成果を感じられるような対策を講じる。
3改善計画	各自で動画を取り、届く声量で音程や歌詞が正しく歌えているか、姿勢や、表情などを前回と見比べ、うまくなっているかを検討する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	12	4	4	0	0	20	—	4.40	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	0	1	8	7	4	20	—	2.30	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	19	0	0	0	1	20	96	4.80	4.54
③	20	0	0	0	0	20	100	5.00	4.79
⑤	13	4	2	1	0	20	89	4.45	4.53
⑥	18	1	1	0	0	20	97	4.85	4.65
⑦	15	4	1	0	0	20	94	4.70	4.54
								4.76	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	13	4	3	0	0	20	90	4.50	4.61
⑨	15	1	4	0	0	20	91	4.55	4.59
⑩	14	4	2	0	0	20	92	4.60	4.63
⑪	18	1	1	0	0	20	97	4.85	4.82
⑫	14	4	2	0	0	20	92	4.60	4.75
⑬	15	4	1	0	0	20	94	4.70	4.73
⑭	18	1	1	0	0	20	97	4.85	4.70
⑮	17	2	1	0	0	20	96	4.80	4.68
⑯	13	6	1	0	0	20	92	4.60	4.37
								4.67	4.65
TOTAL								4.53	4.64

教科担当者 田中 幸子

開講期 R4年度 前期

授業科目 ピアノⅢ、Ⅴ

回答者数 2 履修者数 3

単位数 1 単位

授業形態 実技

開設学年 2,3 年次

学科 音楽

【改善計画】

1自己評価	明るく前向きな学生たちばかりだった。
2改善課題	表現力もあり、弾ける学生が多いが、移調奏、伴奏アレンジに力不足の学生もいた。
3改善計画	個人にあった半期分のレッスン計画を立て確実に伸ばしていきたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	0	1	1	0	0	2	—	3.50	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	2	0	0	0	0	2	—	5.00	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.54
③	2	0	0	0	0	2	10	5.00	4.79
⑤	1	0	1	0	0	2	8	4.00	4.53
⑥	1	0	1	0	0	2	8	4.00	4.65
⑦	0	1	1	0	0	2	7	3.50	4.54
								4.30	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすく工夫をされていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.61
⑨	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.59
⑩	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.63
⑪	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.82
⑫	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.75
⑬	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.73
⑭	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.70
⑮	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.68
⑯	1	1	0	0	0	2	9	4.50	4.37
								4.50	4.65
TOTAL								4.41	4.64

教科担当者 田中 幸子

開講期 R4年度 前期

授業科目 ピアノⅠ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ

回答者数 24 履修者数 32

単位数 1 単位

授業形態 実技

開設学年 1,2,3,4 年次

学科 こども

【改善計画】

1自己評価	全員音楽が好きである。大変真面目で明るく、真面目で常に前向きな姿勢がうれしかった。
2改善課題	持ってくる曲数が多く、移調奏のレッスンが薄かったような気がする。
3改善計画	時間配分を考え効果的なレッスンを心掛けたい。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取組みについて

- ① この授業（レッスン）は何回欠席しましたか
- ② この授業（レッスン）で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業（レッスン）1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業（レッスン）の理解は進みましたか
- ⑥ この授業（レッスン）に意欲をもって、取り組むことができましたか（臨みましたか）
- ⑦ 授業（レッスン）の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	12	9	3	0	0	24	—	4.38	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	5	8	6	4	1	24	—	3.50	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	22	0	0	0	2	24	112	4.67	4.54
③	24	0	0	0	0	24	120	5.00	4.79
⑤	21	2	1	0	0	24	116	4.83	4.53
⑥	22	1	1	0	0	24	117	4.88	4.65
⑦	21	2	1	0	0	24	116	4.83	4.54
								4.84	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業（レッスン）に有効でしたか
- ⑩ 授業（レッスン）はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業（レッスン）に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業（レッスン）をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業（レッスン）は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業（レッスン）内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	22	1	1	0	0	24	117	4.88	4.61
⑨	22	1	1	0	0	24	117	4.88	4.59
⑩	21	2	1	0	0	24	116	4.83	4.63
⑪	22	0	2	0	0	24	116	4.83	4.82
⑫	21	2	1	0	0	24	116	4.83	4.75
⑬	22	1	1	0	0	24	117	4.88	4.73
⑭	22	2	0	0	0	24	118	4.92	4.70
⑮	20	3	0	1	0	24	114	4.75	4.68
⑯	21	2	0	1	0	24	115	4.79	4.37
								4.84	4.65
TOTAL								4.73	4.64

教科担当者 石岡 ひろみ

開講期 R4年度 前期

授業科目 体育実技 I

回答者数 49 履修者数 56

単位数 2 単位

授業形態 実技

開設学年 1 年次

学科 音楽・こども

【改善計画】

1自己評価	* 実際は、前半3クラス展開(スタジオで実施)⇒音楽学科を2クラスに分け、月曜日の4、5限目に。こども学科を金曜日の2限目に実施。後半は学科毎の2クラス展開(体育館の使用が可能となった為)環境に応じてプログラム内容を変更した回もあったが、概ね学生それぞれの体力に合わせて、全身運動・リズム運動・軽スポーツにチャレンジすることができた。
2改善課題	体育館の環境について再考する。 体育実技としての事前学修・事後学修の取り組みに差がある。
3改善計画	季節に応じ暑さ寒さを考慮しながら、体育館の利用方法、実技内容の適正化を図る。 体育実技としての事前学修・事後学修の取り組みを明示し、確認の為、teamsの「体育実技」チームを作成し課題を活用する。

質問項目 1. この授業（講義・演習）に対するあなた自身の取り組みについて

- ① この授業(レッスン)は何回欠席しましたか
- ② この授業(レッスン)で、遅刻や途中退席はしませんでしたか
- ③ シラバスに事前学修・事後学修が記載されていることを知っていますか
- ④ 授業(レッスン)1回当たりの事前・事後学修の合計時間は平均するとどのくらいになりますか
- ⑤ 事前学修・事後学修によって授業(レッスン)の理解は進みましたか
- ⑥ この授業(レッスン)に意欲をもって、取り組むことができましたか(臨みましたか)
- ⑦ 授業(レッスン)の到達目標は、達成できましたか

集計結果

(人)

	0回欠席	1回欠席	2～3回欠席	4回欠席	5回以上欠席	有効回答数	—	教科平均	全体平均
①	19	20	8	2	0	49	—	4.14	4.29
	120分以上	120～60分	60～30分	30分以下	やっていない	有効回答数	—	教科平均	全体平均
④	1	0	6	35	7	49	—	2.04	2.81
	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
②	46	0	0	0	3	49	233	4.76	4.54
③	47	0	0	0	2	49	237	4.84	4.79
⑤	34	12	3	0	0	49	227	4.63	4.53
⑥	38	10	1	0	0	49	233	4.76	4.65
⑦	35	13	1	0	0	49	230	4.69	4.54
								4.74	4.61

質問項目 2. この授業（講義・演習）の内容や進め方について

- ⑧ 事前学修・事後学修についての説明は十分でしたか
- ⑨ 事前学修・事後学修の課題は授業(レッスン)に有効でしたか
- ⑩ 授業(レッスン)はシラバスに沿って実施されましたか
- ⑪ 授業(レッスン)に対する先生の熱意や意欲は感じられましたか
- ⑫ 先生は授業(レッスン)をわかりやすくする工夫をしていましたか
- ⑬ 質問に適切に答えてもらえましたか
- ⑭ 授業(レッスン)は、意欲的に取り組める雰囲気でしたか
- ⑮ この授業(レッスン)内容に関する興味・関心や視野などが広がりましたか
- ⑯ この授業の内容はどの程度理解出来ましたか／レッスンを受けて技能は高まりましたか

集計結果

回答	5	4	3	2	1	有効回答数	合計(点数)	教科平均	全体平均
⑧	39	8	2	0	0	49	233	4.76	4.61
⑨	37	9	3	0	0	49	230	4.69	4.59
⑩	29	14	6	0	0	49	219	4.47	4.63
⑪	45	4	0	0	0	49	241	4.92	4.82
⑫	39	8	2	0	0	49	233	4.76	4.75
⑬	40	7	2	0	0	49	234	4.78	4.73
⑭	40	7	1	0	1	49	232	4.73	4.70
⑮	38	9	2	0	0	49	232	4.73	4.68
⑯	35	12	2	0	0	49	229	4.67	4.37
								4.72	4.65
TOTAL								4.52	4.64